

1 (1) 団体の状況

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、特定非営利活動法人チーム杉劇、有限会社アイコニクス、株式会社ニックスサービスの4事業者は、平成27年度より共同事業体として磯子区民文化センターの指定管理を行っています。公益財団法人横浜市芸術文化振興財団を代表団体として、第4期も引き続き共同事業体として、取り組んでいきたいと考えています。

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

わたしたちは、横浜市の文化芸術の振興を目的として設立された、横浜市の外郭団体です。

横浜美術館や横浜みなとみらいホールのような文化芸術の専門性の高い施設、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜市民ギャラリー等、市民の文化活動を支援する施設、身近な地域の文化拠点となる区民文化センター等、横浜市内13の文化施設を運営し、事業を展開しています。各施設の運営、事業にとどまらず、施設同士の連携、学校、企業、文化団体、福祉団体等、様々な主体と連携することで、ネットワークを拡大し、事業を展開しています。

豊富な文化施設運営の実績とともに、わたしたちは、「横浜トリエンナーレ」「横浜音祭り」「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA」や、芸術家を学校に派遣する「横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム」、地域課題の解決につなげる文化芸術活動をサポートする「ヨコハマアートサイト」等、横浜市の文化政策において重要な事業を、横浜市との強いパートナーシップのもと実施しています。また文化芸術創造都市施策のもと展開している「アーツコミッション・ヨコハマ」事業は、地域版アーツカウンシルの先駆けとして全国から注目されています。

【目的(「定款」第3条)】

この法人は、芸術文化を総合的に振興することにより、横浜独自の魅力ある都市創造のための社会基盤の整備を推進し、もって創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現に寄与することを目的とする。

【私たちの使命】

わたしたちのミッション

わたしたちは市民とともに アートの力を活かすことにより横浜の魅力を高め
心豊かで活力に満ちた市民生活の実現を目指します

わたしたちの描く未来

市民の参加や協働のアート活動により 新たな出会いの機会と場が生まれ
「創発する都市」横浜が世界に拓かれます

わたしたちの基本的価値観

アートの力を信じる わたしたちはアートの多様な可能性を信じて行動します

アートでつなぐ わたしたちはアートを通じて人・社会・時代をむすび
多様な出会いとつながりを生みだします

アートで拓く わたしたちはアートの多様性で 新たな価値創造に挑戦し未来を拓きます

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 (1) 団体の状況

【団体概要】

- ・ 名 称 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団(所在地:神奈川県横浜市中区山下町2番地)
- ・ 代 表 者 近藤 誠一
- ・ 設立年月日 平成3年7月10日
(※平成21年7月 神奈川県下で初の公益認定を受け公益財団法人に移行)
- ・ 市 所 管 課 文化観光局文化芸術創造都市推進部文化振興課
- ・ 基本金総額 200,000 千円 [市出資額 100,000 千円(市出資割合 50.0%)]
- ・ 役 職 員 数 役員 12 名(常勤 6 名、非常勤 6 名)、職員 158 名

【公益目的事業(定款第4条)】

- ・ 芸術文化の創造及び発信
- ・ 芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供
- ・ 芸術文化振興のための助成
- ・ 芸術文化活動拠点の開発及び運営
- ・ 芸術文化資源の収集、保存及び活用
- ・ 芸術文化に関する情報の収集及び提供
- ・ 芸術文化振興に関する調査研究及び政策提言
- ・ 芸術文化振興のための国内外との交流
- ・ その他芸術文化振興を推進するための事業

団 体 名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 団体の状況

特定非営利活動法人 チーム杉劇

杉田劇場の第2期指定管理期間に、これまで杉田劇場をサポートしてきた仲間たちが集まって、「杉田劇場と歩む区民の会(略称:区民の会)」が設立され、区民は何を望んでいるのか、未来の磯子区の芸術文化を育むためにはどうしたらいいのか、さまざまな意見交換をする場、区民同士の出会いや気づきの場として、自分たちの力を結集しようと話し合いを重ねました。そこで、“文化は人(地域)の力なり”を信念に、継続の力が何よりも大切との考えから、区民の会を発展的に解消し、芸術文化を担う新しい組織『特定非営利活動法人 チーム杉劇』を設立しました。区民との融合体である特定非営利活動法人 チーム杉劇は、文化の力を信じて、さまざまな枠を超え機動力のある実行部隊として区民と一緒に文化で地域を繋げる役割を担います。

1 団体の目的

特定非営利活動法人チーム杉劇は、杉田劇場を中心にその周辺区を主とした地域の人々に対して、さまざまな芸術活動を行うことにより、芸術文化を身近に感じる心豊かな市民生活の実現と地域の振興に寄与することを目的としています。

2 団体の活動

この目的を達成するため次の特定非営利活動を行っています。

- (1) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

3 団体の事業

- (1) 杉田劇場を中心とした芸術文化の創造および発信事業
 - (2) 地域活動、芸術文化活動の支援事業
 - (3) 地域の芸術文化拠点とネットワークづくり事業
 - (4) 芸術文化資源の収集と活用事業
 - (5) その他目的を達成するための事業
- などがあります。

4 団体概要

名称	特定非営利活動法人チーム杉劇
所在地	横浜市磯子区杉田一丁目9番13号
設立	平成24年11月(法人認可は平成25年2月20日)
役員	理事長 守屋 直 副理事長 鴫田要一・宮内重明・渡邊純一 常任理事 石井高彦・木村嘉秋 理事 糺谷 淳・山中あけみ・吉澤 実 監事 吉澤 幸治
会員数	正会員:18人 サポーター会員:20人
職員数	契約職員:7人 臨時職員:10人

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 団体の状況

5 特定非営利活動法人チーム杉劇の強み

(1) 地域と太いパイプを持つ NPO 役員と劇場スタッフとが連携したコミュニティづくり

「特定非営利活動法人チーム杉劇」は地域に根ざした住民や区民などが会員となり、またその会員の中から役員が選出されています。会員は、「磯子区を中心にその周辺区を主とした地域の人々に対して、さまざまな芸術文化活動ならびに地域活動を行うことにより、芸術文化を身近に感じる心豊かな市民生活の実現と地域の振興に寄与することを目的とする。」という法人の理念に賛同して入会しています。この NPO 会員・役員が劇場スタッフと一緒に地域に出向いて、地域の住民と話し合いを行うなど、地域と杉田劇場を結びつける働きをしています。

(2) NPO ネットワークを活用した事業展開

磯子区では、区に NPO 連絡会が結成されており、区内の 11 団体が活動の情報交換や協力関係を築いています。チーム杉劇では、磯子区青少年地域活動拠点「イソカツ」と連携をして、中・高校生も参加できる居場所づくり「杉劇ちょこっとカフェ」などの実施や、NPO 連絡会の一員として「地域活動フォーラム」に杉劇リコーダーズが参加するなど、NPO ネットワークを活用した取組みが進んでいます。

(3) 新しい公共としての役割が期待されている

チーム杉劇は区民が主体の杉田劇場を運営する中心として、区民が地域の文化振興を担っていくための組織として期待されています。ボランティア組織として成長を続ける「杉劇@助っ人隊」とともに、区民が主体となって杉田劇場の運営に取り組み、区民による文化活動や文化芸術を通じたまちづくり活動を支援して、文化芸術振興とまちづくりや地域の活性化を推進しており、新しい公共としての役割が期待されています。

(4) 区民の社会参加促進に寄与している

チーム杉劇は、企業、学校、商店街等とさまざまなネットワークを構築し、事業を展開しています。また、「杉劇リコーダーズ」「杉劇☆歌劇団」のほか区民活動団体「イマージュ ISOGO」「劇団横綱チュチュ」等との活動促進や、「アート de 伝承プロジェクト」など、区民と手を携えた活動を実施することにより、区民の自主的な活動が活発になっており、区民の社会参加をより一層進めることに寄与しています。

(5) 地域文化の掘り起しと区民との文化資産の共有と盛り上げ

地域に根差した伝承文化や地元関係者と国民的大歌手との昔ながらの状況・姿の再発見に取り組み、文化活動を通じた新しい区民ファンを杉田劇場から広げていきます。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 団体の状況

有限会社 アイコニクス

1 舞台のプロとして利用者が満足していくサービスを

磯子区民文化センター共同事業体の一員として、舞台管理業務にて、ご利用いただく利用者のために事前相談から当日の舞台における音響や照明等の業務において、公演終了後にこの施設の舞台業務がアイコニクスで良かったと思われるよう隔々にまで気を配り利用者に対応してまいります。

2 会社概要

【会社概要】

有限会社アイコニクス

会社設立 昭和57年 9月 6日

資本金 300万円

稼働人員 10名

取引銀行（五十音順） みずほ銀行 茅ヶ崎支店
横浜銀行 杉田支店

【取引先】（五十音順）

有限会社ちがさき屋十大	劇団横浜夢座
有限会社湘南音響	劇団湘南山猫
有限会社ザイオン	クリエイト高橋
有限会社キャラバンサウンドシップ	株式会社ライツ
有限会社アイコニクス横浜	株式会社コジマサイクル
平塚アートバレエスタジオ	株式会社神奈川共立
茅ヶ崎邦楽協会	株式会社大村製紙
茅ヶ崎湘南ロータリークラブ	ICEモダンバレエスタジオ
ジャンティユーバレエスタジオ	HCOミュージック

3 資格保有者

日本照明家協会 1級技能士	2名在籍
日本照明家協会 2級技能士	1名在籍
日本音響家協会 1級技能士	1名在籍
日本音響家協会 2級技能士	2名在籍
ヤマハ公認ピアノ調律師	1名在籍
舞台機構調整技能士 1級	1名在籍

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 団体の状況

株式会社 ニックスサービス

1 磯子区民文化センター 安全・安心な運営のために

指定管理業務 磯子区民文化センターにおいては、2つに大別し管理を実施しています。

● 予防保全工事 壊れてから修理したのでは、営業に支障がある、安全性に欠ける。

● 修繕工事 動かなくなってしまう前から、機能しなくなってしまう前から交換・修理をする。

安全・安心な施設運営を維持するために、コストを下げるために、非常に重要な役割を果たします。

例えば、扉の開閉に支障がある、ドアクローザーに緩みは無いか？ボルトを増し締めし、油を補充して様子を見る。これ以上、支障をきたすと指の挟まれ等の事故につながる可能性が起こるかもしれないと判断した時に速やかに交換をする。建物や設備の維持管理には非常に重要な事です。

我々は、日々そういった小さい事に目を向けて、大きなトラブルに発展しないように管理をしています。

2 会社概要

【会社概要】

株式会社ニックスサービス

会社設立 平成 8 年 2 月 8 日

資本金 1,000 万円

稼働人員 150 名

取引銀行（五十音順） みずほ銀行 横浜中央支店
横浜銀行 杉田支店
りそな銀行 磯子支店

建設業許可番号 神奈川県知事許可（般-24）第 66427 号 鷹・土工工事業

一般労働派遣許可番号 般 14-300925

【取引先】（五十音順）

株式会社 アーキ・ピーアンドシー	株式会社 アリスキュリアサービス
K2 インターナショナルグループ	佐藤工業 株式会社
清水建設 株式会社	スターツアメニティー株式会社
株式会社 スタジオアリス	大成建設 株式会社
大東建託 株式会社	東亜建設工業 株式会社
日油 株式会社	日本国土開発 株式会社
日本トイザラス 株式会社	有限会社 浜田不動産
株式会社長谷工コーポレーション	平沼土地管理 株式会社
馬淵建設 株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社
六興電気 株式会社	他 公共事業

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 (2) 団体の実績

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、専門文化施設、地域利用施設、創造界隈拠点等、様々なジャンルやタイプの文化施設運営に豊富な実績を有しています。

財団設立以来の蓄積された様々なノウハウと専門性、ネットワークが評価され、専門文化施設(横浜美術館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、大佛次郎記念館)において、非公募単独指名による指定管理業務を担っています。

【磯子区民文化センターの運営実績】

現指定期間含む運営期間	主な運営実績
平成 17 年～令和元年度 (令和 2 年 3 月で 15 年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同事業体の代表団体として、第 1 期～第 3 期の運営に携わる。 ・ 2006 年に区民企画アイデア提案事業としてスタートしたリコーダーアンサンブル「杉劇リコーダーズ」や、同施設で生まれた地域密着型エンターテインメント集団「杉劇☆歌劇団」などを実施。 ・ 地域のさまざまな担い手が参加する杉田劇場の夏まつりや、区民と区内の歴史や文化を収集し普及する「いそご文化資源発掘隊」など、人と地域と劇場をつなぐ取り組みを多数実施。これらは全国的にも先駆的なモデルとして『劇場・音楽堂等地域貢献ハンドブック 2016』(発行・文化庁委託事業・公益社団法人全国公立文化施設協会)にて紹介された。

【同類施設の管理運営実績】

施設名称	主な運営実績
緑区民文化センター 「みどりアートパーク」	<p>現在の指定期間【令和 1 年度～令和 5 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同事業体の構成団体として運営に携わる。 ・ ワンコインで楽しめるコンサートや、地元の音楽家を起用したクラシック・コンサートなどを実施。
吉野町市民プラザ	<p>現在の指定期間【平成 28 年度～令和 2 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同事業体の構成団体として運営に携わる。 ・ 落語会やコンサートの他、地域コミュニティの核となるべく、積極的に市民団体との連携を促進。地域の音楽家によるコンサートと地域の作家による手作り作品の展示・発表や、大岡川アートプロジェクト実行委員会と共同したワークショップなどを実施。
岩間市民プラザ	<p>現在の指定期間【平成 28 年度～令和 2 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同事業体の構成団体として運営に携わる。 ・ 地域の歴史的建造物を会場としたコンサートや、地域の企業や保育施設、NPO 等と連携した事業などを展開。 ・ 「ほ도가や人・まち・文化振興会」や「ほ도가や国際フェスタ」など地域のイベント等への協力や連携から、地域とのネットワークづくりを行い、地域の文化的コモンズ形成へ貢献。

団 体 名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 (2) 団体の実績

【その他の文化施設の運営実績】

施設名称	現在の指定期間
横浜美術館	平成 25 年度～令和 4 年度
横浜みなとみらいホール	平成 24 年度～令和 3 年度
横浜能楽堂	平成 29 年度～令和 3 年度
横浜にぎわい座	平成 28 年度～令和 2 年度
大佛次郎記念館	平成 28 年度～令和 2 年度
横浜市民ギャラリーあざみ野	平成 27 年度～令和 1 年度
横浜市民ギャラリー	平成 28 年度～令和 2 年度
横浜市市民文化会館関内ホール	平成 28 年度～令和 2 年度
横浜赤レンガ倉庫 1 号館	(普通財産施設)

※関内ホールは、共同事業体の構成団体として参加

【自主事業及び施設貸出などの実績(平成 30 年度当団体「事業報告書」より)】

公演・講座などの実施回数	3,017 回/年
入場者・参加者数	約 193 万人/年
施設利用人数	約 271 万人/年
施設利用率(ホールのみ)	80%
ホームページアクセス件数	約 2,963 万 pv
顧客満足度調査(5 段階評価)	4.52

※関内ホール、吉野町・岩間市民プラザに関しては構成団体であるため上記の実績には計上していない

【近年の主な受賞実績】

- 平成 24 年第 16 回 ふるさとイベント大賞 選考委員特別賞
- 平成 25 年「NISSAN PRESENTS JAZZ JAPAN AWARD 2012」ベスト・ライブ・パフォーマンス部門受賞
…協働推進グループ「横浜 JAZZ PROMENADE」※実行委員会として
- 平成 26 年度(第 69 回)文化庁芸術祭賞大賞(舞踊部門・関東参加公演の部)
…横浜能楽堂「琉球舞踊 古典女七踊」
- 平成 27 年度 第 3 回 ジャポニスム学会展覧会賞
…横浜美術館「ホイッスラー展」
- 平成 27 年度バリアフリー・ユニバーサル推進功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」
…横浜能楽堂
- 平成 27 年度地域創造大賞(総務大臣賞)…横浜美術館

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

2 団体の実績

特定非営利活動法人 チーム杉劇

チーム杉劇は、法人認可を受ける前後から、学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動や社会教育の推進を図る活動、子どもの健全育成を図る活動など、法人の目的に沿った活動に取り組みました。こうした活動を進める中で、芸術文化の創造・発信や地域活動の支援などに対する力をつけながら、杉田劇場の指定管理者共同事業体の一員として参加し、現在に至っています。

1 公演事業の実績

平成 24 年 3 月 ～25 年 3 月	地域の施設、商店街等へ音楽を届けるプロジェクト 「杉劇たまたまて箱」を 10 回実施(アウトリーチ)	地域施設等
平成 25 年 6 月	秦野市文化会館からの依頼を受けて未就学児向け音楽会「ひよこ♪コンサート」を実施。	秦野市文化会館
平成 25 年 12 月	ちびっ子シアター実行委員会からの依頼を受けて未就学児向け音楽会「ひよこ♪コンサート」を実施。	港北公会堂
平成 28 年 7 月	イマージュ ISOGO コンサート 2016 in 杉田劇場	磯子区民文化 センター杉田劇場
平成 28 年 8 月	松永大介競歩選手応援リオ・オリンピック パブリックビューイング	磯子区民文化 センター杉田劇場
平成 28 年 9 月	漆原啓子 & 漆原朝子ヴァイオリン・デュオ・リサイタル	磯子区民文化 センター杉田劇場
平成 28 年 10 月	全盲のピアニスト島筒英夫ピアノ弾き語りコンサート	磯子区民文化 センター杉田劇場
平成 29 年 2 月	杉劇♪カラオケ大会	磯子区民文化 センター杉田劇場

2 指定管理者としての実績

チーム杉劇は指定管理者共同事業体の一員として、平成 27 年 4 月より本施設を管理運営しております。「杉劇リコーダーず」や「杉劇☆歌劇団」のワークショップにおける取組みを通じて、音楽から演劇まで幅広いジャンルの公演に対応ができます。また、その強みを活かして鑑賞事業を実施するとともに、地域の学校と連携して子どもたちの歌声を商店街等に届ける「歌声プロジェクト」や、地域と一体となって地域の文化・古典芸能や伝統技能を探り、それらを伝承・普及する「アート de 伝承プロジェクト」の取組み、区内の小学生を杉田劇場に招き公演鑑賞の機会を提供する「杉劇アート体験塾」などに取組んでいます。また、子育て支援の一環として音楽を通じた親子のふれあいの場となる「ひよこ♪コンサート」、出入りが自由なロビーでのこども向けの歌、楽器演奏、アート体験等のパフォーマンスを行う「ロビーパフォーマンス」、街のにぎわいづくりや、地域連携強化につながる「杉田劇場夏まつり」「磯子音楽祭」の開催、こどもや高齢者、中高生などの居場所づくりとなる「杉劇ちよこっとカフェ」の取組みなども進めています。

施設の管理運営においても、「横浜市公共建築物マネジメントの考え方」に基づきメンテナンス(予防保全)に心掛け、施設の長寿命化につながる維持管理を行っています。法令、維持保全の手引き、業務の基準等に定める内容に沿って適切な保守点検等施設維持管理を実施しています。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

2 団体の実績

有限会社 アイコニクス

創業 36 年になるアイコニクスは舞台芸術にこだわり続けています。
私たちが関わった仕事でお客様に「ゆめ」と「希望」と「感動」を！
これが 1982 年の設立当時から私たちの目的です。

1 磯子区民文化センターでの活動

2005 年劇場オープン当時から「磯子区を音楽で元気にしたい」という目的で地元のミュージシャンたちが集まって、後の「イマージュ ISOGO」という団体の皆さんとは、現在も音楽こだわりで深く繋がり、第 12 回目のコンサートが 2019 年6月8日盛大に開催されました。

地元劇団である「劇団横綱チュチュ」の皆さんとは本公演が近くなると何回も大道具の打ち合わせを行い、道具の大きさ長さ作りのミスを無くす事に、共にこだわっています。

2009 年からは横浜夢座と事業交流が始まり、2016 年から「真昼の夕焼け」という作品を小学生を対象に、戦争体験の実話を朗読劇にして見ていただいています。音響、照明はアイコニクスが全て担当しています。

このようにアイコニクスはクリエイターとして歩んできています。

これからもアイコニクスは磯子区民文化センターと磯子区民と共に「ゆめ」を追いかけていきたいと思ひます。私たちは「ゆめ」の実現にこだわっています。

2 団体の活動

長い間舞台管理業務に関わった経験を元に、お客様の「ゆめ」実現のために事前相談や打ち合わせ、施設見学などを行いイメージの共有化をはかっています。

1992 年 アイコニクス自主事業写真展「沢田教一写真展」を茅ヶ崎市民文化会館ギャラリーで 1 週間開催し読売新聞湘南版に掲載されました。

1996 年 アイコニクス自主事業演劇「恋のメモランダム」を相鉄本多劇場にて 3 日間 3 公演行いました。
良い研修になりました。

2012 年 アイコニクス 30 周年記念事業「ひよこコンサート in 茅ヶ崎」を企画制作。
800 人のパパ・ママ・ちびっ子たちが集まりました。

ホールの管理側からホールを借りる利用者側へと立場を変えて、お互いの気持ちが分かるように研修会を行っています。

1996 年から 茅ヶ崎の湘南素人劇団「えぼし座旗揚げ公演」に技術部門全体の仕切りで参加し、毎年 30 人以上の出演者が集まります。

2019 年は、総勢 100 人の出演者と 500 人の観客を集めました。地元密着型の活動もしています。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

2 団体の実績

株式会社 ニックスサービス

本社ビルである磯子トイザラス浜田ビルにおいて、テナントであるおひさま保育園(当時の名称)と連携を取り「待機児童0」を推進し、安倍総理大臣のご訪問を実現しました。

一国の総理大臣が、民間のビルに視察に訪れる事は稀な事であり、以前から磯子交通安全協会・磯子火災予防協会・磯子区役所、地域振興課主催の「いそごまつり」への協力等で街全体との連携・信頼関係を培っていた為、実現できた賜物と皆様に感謝すると共に今後も変わらぬ磯子の発展に寄与する所存でございます。

現在、オリンピック会場になる、横浜スタジアム改修工事に参画。みなとみらい地区の京急本社屋・ぴあホール・日産本社改修工事等横浜の発展に積極的に貢献しています。

【共同事業体としての実績】

指定管理 3 期目(H27 年 4 月～R1 年 3 月)初めての JV 作業として参画

【行政との連携作業】

JV 作業開始 10 日目にして、貨物用エレベーターのインバーターの故障
2 週間後にビオラの搬入とコンサートの開催予定を控えての超速修繕作業実施。

1 第 3 期指定管理の修繕等の実績

冷温水発生器のオーバーホール(日立社製)
天井改修工事・舞台設備の一部改修含む
マルチエアコン 更新工事
エレベーター1 基・エスカレーター2 基 大規模修繕工事企画立案と実施
館内水路館内による音鳴りに対する調査と修繕
ITV 更新工事企画立案
エレベーター・エスカレーター大規模修繕計画表作成提出
マルチエアコン大規模修繕計画表作成提出
ジョンソン空調遠隔監視システム更新工事計画表提出
会議室間仕切りパーティション修繕(ボルト交換等含む)
各所扉ハンガーフックの調整修繕
扉枠・舞台花道木枠 修繕と塗装
トイレ廻りパッキン・電磁弁交換
練習室絨毯張替工事
ギャラリー扉調整工事
会議室・楽屋壁穴補修工事

2 ビル全体としての管理組合との連携実績

電気の自由化に伴い、民間企業の紹介と東京電力契約金の提言を実現
エスカレーター・外壁等の漏水調査・劣化調査と修繕計画の実施

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

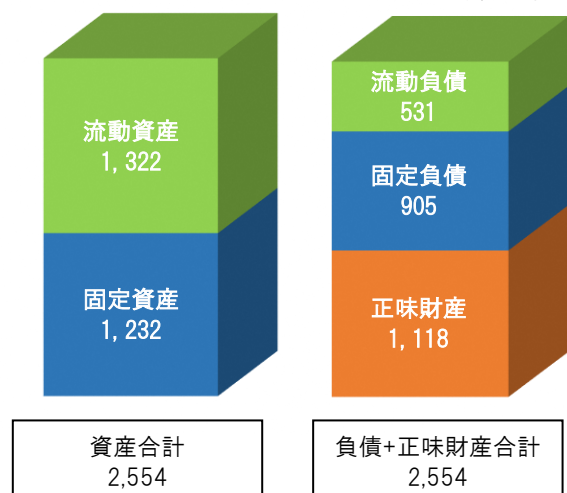
1 (3) 団体の財務状況

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

平成 30 年度決算に基づく財務状況は以下の通りです。

【財産の状況】

(単位:百万円)



【総資産対正味財産】

 $44\% = \text{正味財産} \div \text{総資産 (前年度 46\%)}$

【流動比率】

 $249\% = \text{流動資産} \div \text{流動負債 (前年度 262\%)}$

【正味財産増減の状況】

(単位:百万円)

経常収益	3,894
経常費用	3,952
当期経常増減額	▲ 58
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	▲ 58
当期指定正味財産増減額	0
正味財産期首残高	1,176
正味財産期末残高	1,118

・平成 30 年度決算について

当期経常増減額が▲58 百万ですが、これは事業の質的向上及び設備の更新等、市民サービス向上に向けた積極的な投資であり、横浜みなとみらいホール開館 20 周年事業及び横浜赤レンガ倉庫 1 号館の客席の更新に繰越金を充てたためです。

【自己収入割合】

平成 30 年度実績 $40\% = (\text{経常収益} - \text{指定管理料収益} - \text{受取横浜市補助金}) \div \text{経常費用}$
自己収入割合の向上は、市費に依存しない経営基盤とするべく、中期経営計画でも目標として掲げています。横浜市との協約においては、平成 30 年度～令和 2 年度の 3 か年平均で 40% を目標としています。

■ 過去 3 年間における自己収入割合の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実績	38%	35%	40%

■ 協賛・助成を受けた団体・機関数(当団体の「事業報告書」より)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
協賛	38 団体	55 団体	61 団体
助成	7 機関	7 機関	6 機関

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

3 団体の財務状況

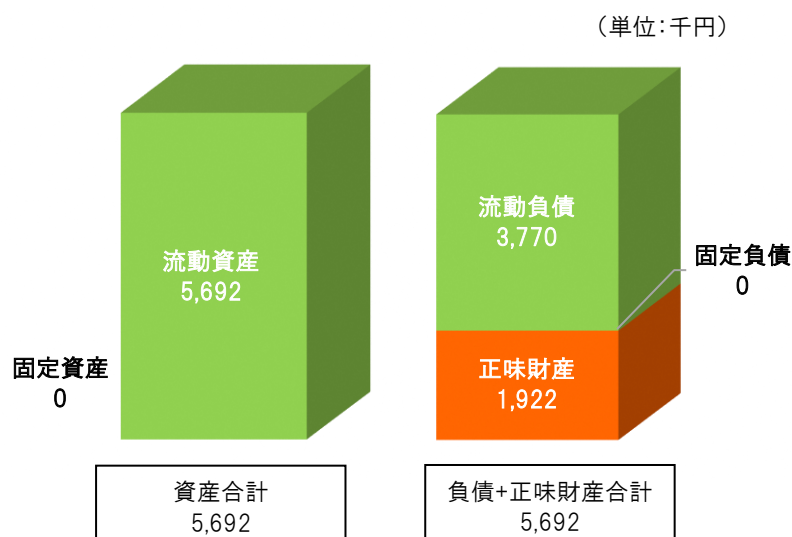
特定非営利活動法人 チーム杉劇

特定非営利活動法人は、何らかの公益性をおびた特定の事業内容自体が存立目的となっているため、営利企業と同じような基準で財務状況を判断することは困難な面があります。

特定非営利活動法人の収入源は、会費、寄附金、事業収入、助成金、補助金等が主なものです。チーム杉劇は財政規模の面で大きな団体であり、また財務状況も収支均衡であり健全です。なお、平成 29 年度は約 350 万円の赤字となっていますが、その理由は、当該年度が磯子区制 90 周年にあたり、その関連事業等の実施などにより、人件費が増加したためで一過性のもので懸念ありません。

※ 杉田劇場に関わる事業費は、指定管理者共同事業体の代表団体である横浜市芸術文化振興財団に計上されており、その経費により事業執行を行っているため、チーム杉劇の支出については、職員の人件費が主となっています。

■ 貸借対照表



■ 年度別の収支状況

(単位:千円)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総 収 入	33,681	34,921	33,680	34,020
総 支 出	29,236	33,976	37,263	33,981
当期収支差額	4,445	945	△ 3,583	39
次期繰越収支差額	4,521	5,466	1,883	1,922

団体名

 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
 有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

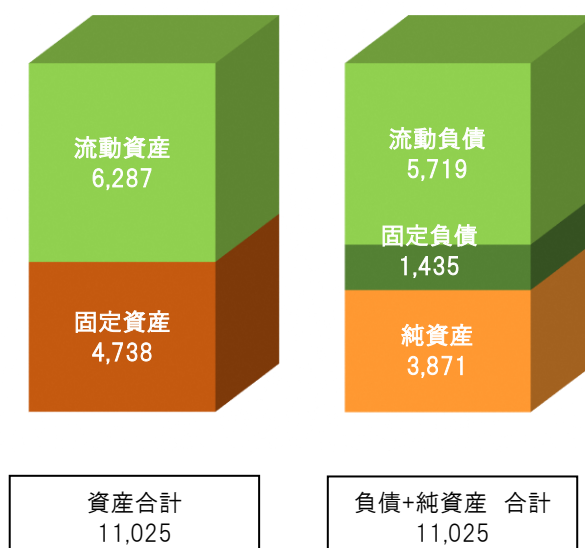
3 団体の財務状況

有限会社 アイコニクス

当社は舞台管理業務の会社として、公演での舞台監督、音響、照明のオペレーション及び舞台装置に関する保守管理を主な業務とし、本件の磯子区民文化センターや他の文化施設での舞台の運営管理業務や、公演やイベント等での舞台制作の受託業務が主な売上の内容です。業務エリアは横浜市のみならず、神奈川県内の広い範囲としています。スタッフに舞台技術に関する資格保有者を多く揃えていることから、取引先とも良好な関係が築けており、また受託業務の多くは毎年継続されるものが大半を占め、その事により安定的な収入が見込め、下記に示した収支表においても 3 カ年の安定した収入を示しており、財務状況は安定しているものと考えております。

■ 貸借対照表（平成 30 年度）

（単位：千円）



■ 年度別の収支状況

（単位：千円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総 収 入	30,347	32,681	29,003
総 支 出	32,156	32,022	27,558
当 期 差 額	▲1,809	658	1,445

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

3 団体の財務状況

株式会社 ニックスサービス

当社は仕事に対して、「誠意と真心」を理念とし安全と工期を守る！を合言葉に日々努力を積み重ねています。単に利益を追求するのではなく、必要とされ、信頼され、安心をご提供し対価を頂く事で喜びを感じる企業として従事しています。

平成 31 年度の財務状況としては、経営分析率は良いのですが前期に比べ「売上高」「当期利益」共に減少しています。これは、オリンピックに係わる大規模工事の発注依頼の契約に伴い、繁忙期と閑散期の需要と供給バランスを年単位で調整するのが不可能なため、2～3 か年計画の人員配置の調整を図るための止むを得ない調整です。

また、働き方改革の法令順守に伴い人件費の増大・従業員のキャリアアップに力を注ぎ人材育成に力を注いだ結果とも考えられます。

一般の方には、解りにくい資格ではありますが、ハーネス型安全帯 特別教育 現場作業従事者 100%受講 足場の組立て等作業従事者特別教育 現場作業従事者 100%受講(外国人技能実習生含む)を実施しています。

平成 31 年 4 月決算に基づく財務状況は以下の通りです。

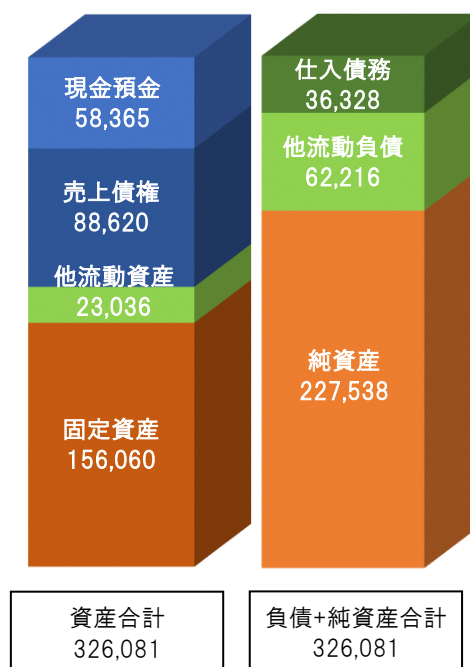
● 損益計算書

(単位千円)

【売上高】	541,899
【売上原価】	433,016
売上総利益金額	108,882
【販売費及び一般管理費】	104,492
営業利益金額	4,389
【営業外収益】	2,430
【営業外費用】	231
経常利益金額	6,588
【特別利益】	2,512
【特別損失】	785
税引前当期純利益金額	8,315
法人税等	3,740
当期純利益金額	4,575

● 貸借対照表

(単位千円)



【借入金】長期借入金はありません。

【粗利益率】20.1% = 粗利益 ÷ 売上高 × 100

【総資本回転率】1.66 回 = 売上高 ÷ 総資本

【設備生産性】15.41 回 = 粗利益 ÷ 設備資産

【流動比率】172.5% = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100

【当座比率】149.2% = 当座資産 ÷ 流動負債 × 100

【固定比率】68.6% = 固定資産 ÷ 自己資本 × 100

【自己資本比率】69.78(%) = 自己資本 ÷ 総資産 × 100

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

4 市の文化政策かつ使命への理解

1 社会の流れ、国の動き

2017 年、文化芸術基本法が制定され、文化芸術と社会との関係性(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等関連分野との連携)が明記されました。少子高齢化やグローバル化、情報技術の急速な進展など、日本の社会状況が大きく変化する中で、変化に応じた社会要請に応じつつ、関連分野との連携を視野に入れた総合的な文化芸術政策の展開が強く求められています。

同法にもとづいて策定された、今後 5 年間の基本的方向性を示す、文化芸術推進基本計画(第 1 期)では、今後の社会状況に対し、文化芸術は「それ自体が固有の意義と価値を有し、自己認識の基点として文化的な伝統を尊重する心を育てる」という本質的な価値に加え、持続的な経済発展や国際協力の円滑化、文化の多様性を維持し、世界平和の礎となりうる等、社会的、経済的価値を有し、これら多様な価値を活用・好循環させる重要性を強調しています。2018 年には「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、社会と文化芸術の関係性はより深まっています。

2 横浜市の状況 社会課題に対する文化芸術への期待の高まり

2018 年に民間会社が発表した「住みたい街ランキング」において、横浜エリアが 1 位に選ばれ、大きな話題となりました。また 2017 年度に市が実施した横浜市外転出者意識調査では、横浜市への再転入意向のある人は 8 割を占めており、横浜の魅力を裏付ける結果となっています。

2019 年から 2020 年の 2 年間、横浜では第 7 回アフリカ開発会議、ラグビーワールドカップ 2019™、東京 2020 オリンピック・パラリンピックと国際的なビッグイベントが相次いで開催され、国内外から多くの人々が横浜を訪れ、都市の魅力を発信する好機となります。

一方で、横浜の人口は 2019 年をピークに減少に転じることが見込まれており、2030 年には 65 歳以上の高齢者が 100 万人を上回ると予測されています。人口減少・超高齢社会の進展、グローバル化の進展、地域コミュニティの活力向上等、様々な社会状況変化の中で、文化芸術に対する期待が高まっています。

3 横浜市の文化政策 地域のコミュニティの重要性

2012 年、横浜市文化観光局は 10 年を想定した「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」をまとめ、「グローバル化の進展」、「コミュニティの活性化」、「賑わいづくり」、「経済の活性化」等、都市が抱える課題に対し、文化芸術の持つ創造性による様々なアプローチの可能性を示し、また「文化芸術創造都市」づくりをすすめることで、横浜が市民にとって誇れるまち、国内・海外からも「選ばれる都市」として持続的に発展し、都市が活性化することを目指しています。

2018 年に策定された「横浜市中期4か年計画 2018～2021」では、2030 年を展望し、人口減少社会到来、超高齢社会進展等の直面する課題を乗り越え、都市の持続的成長・発展を実現するための6つの中長期的な戦略のひとつとして「力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現」を掲げています。

また本計画を策定・推進する基本姿勢として、横浜市は「地域コミュニティの視点に立った課題解決」をあげており、「身近な地域の課題を解決するために、地域の様々な団体・人々がつながり、お互い協力していくことが重要になる」ことを説明しています。

例えば、少子高齢化等、前述した社会課題にともない地域では、大規模団地等の集合住宅の老朽化、空き家の増加等があります。コミュニティにおいては近年増加している外国人世帯と地域とのつながりづくり、単身高齢者や子どもを地域で見守る環境づくり等、年齢や性別、障がいの有無や国籍によらず、誰もがコミュニティに参画可能な共生社会実現が必要になります。この点において文化芸術の力が注目されています。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

4 市の文化政策かつ使命への理解

特に地域に根差した文化振興を行う区民文化センターは、地域のコミュニティ形成を推進する拠点として大きな役割を担うと、私たちは考えています。今回の「業務の基準に示された」6つの使命は、横浜市が直面する課題を解消し、魅力と活力ある都市でありつづけるために求められていることであると、私たちは考えます。

4 地域の課題に対する、文化芸術の力

文化芸術推進基本計画において、文化芸術の本質的な価値として、「豊かな人間性を涵養し、創造力と感性を育む等、人間が人間らしく生きるための糧となる」「国際化が進展する中であって個人の自己認識の基点となり、文化的な伝統を尊重する心を育てる」とあります。また、社会的価値として「他者と共感し合う心を通じて意思疎通を密なものとし、人間総合の理解を促進する」ことが記載されています。

文化芸術のこのような力は、まさに人々の生活に密着した地域において、大きく力を発揮すると私たちは考えています。

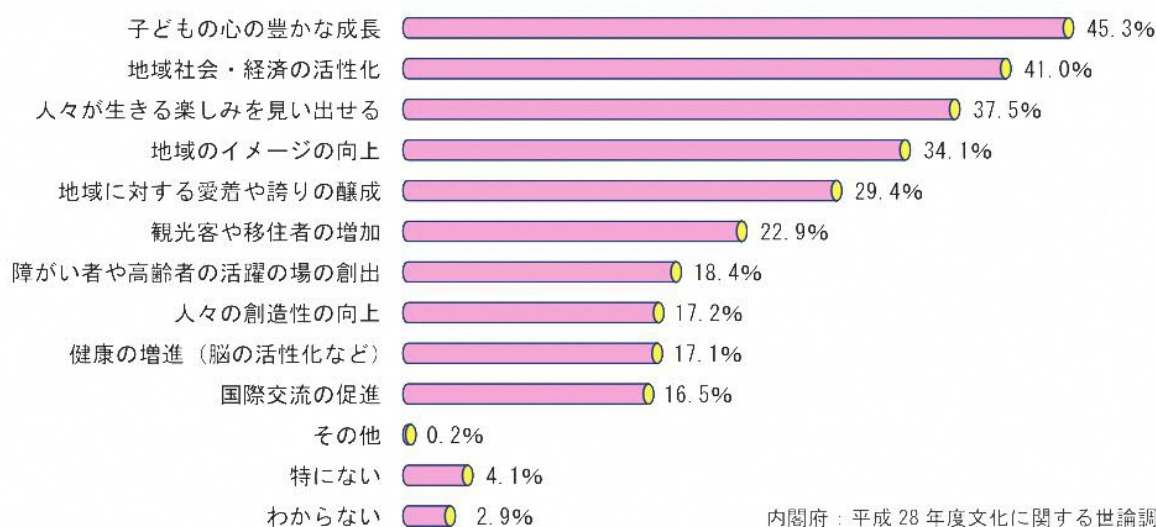
子ども、高齢者、障がい者、在留外国人、経済的な事情を抱える人等、地域はさまざまな人々で構成されています。また情報通信技術の急速な発展、SNS 等の普及等によるコミュニケーションの変容等、人間関係に及ぼす影響が指摘されています。グローバル化の進展により、都市の特色、地域の特色が薄れています。

私たちは、区民文化センターの設置目的である「地域に根差した個性ある文化の創造に寄与すること」を推進することで、これら地域が抱える課題解消につながると考え、活動してきました。

区民文化センターが障がい、性別、国籍、年齢等の様々な違いを超え、誰もが文化芸術活動を楽しむことができる開かれた地域の文化施設であること。文化芸術をきっかけに、人が集い、交流することで人間関係が生まれ、新たなコミュニティが形成されること。区民文化センターがハブとなり、学校、公共施設、企業、商店街等とつながることで、そのコミュニティが広がっていくこと、これらは、区民文化センターの役割として重要であると考えます。

下グラフは平成 28 年に内閣府が行った「文化芸術の振興により期待される社会にもたらす効果」のアンケート結果です。この結果は市民が「子どもの成長」「人々が生きる楽しみを見出せる」「地域活性化・イメージアップ・愛着心の向上」「障がい者・高齢者の活躍の場所」など、人々の生活に根差した課題に対し、文化芸術に対する市民の期待感が表れています。この結果は磯子区においても共通の認識と考えられます。

文化芸術がもたらす効果 (複数回答可)



内閣府：平成 28 年度文化に関する世論調査

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

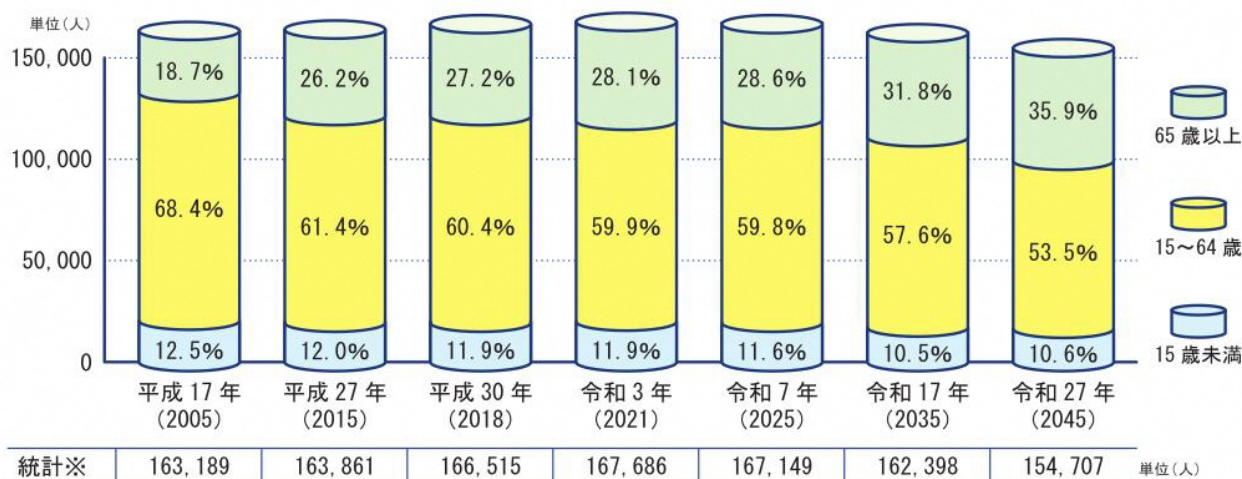
4 市の文化政策かつ使命への理解

5 磯子区の状況

磯子区は、工業地帯が広がる臨海部、古くからの複合的な市街地である平地部、昭和 30 年度以降に形成された大規模で計画的な住宅を主とする丘陵部、円海山周辺の緑地と大きく 4 つのエリアで構成されています。JR 根岸線のほか京浜急行線が通り、道路交通網では首都高速湾岸線、国道 16 号、横浜市道環状 2 号、同環状 3 号などがあり交通の利便性も高く、平成 29 年度に実施された区民意識調査では、区への愛着、定住意向ともに 7 割を超える高い結果となっています。

しかし横浜市が抱える少子高齢化傾向は、磯子区においても顕在化しています。下記のグラフは、磯子区の人口と将来人口推計を示したのですが、磯子区の総人口のうち 65 歳以上の人の占める割合は、2005 年以來、年々増加する一方、15 歳～64 歳未満の人口は減少傾向にあることがわかります。2015 年に 12.5%だった 15 歳未満人口は、2045 年には 10.6%まで縮小することが予測され、さらに少子化、高齢化が進展していくことが予測されます。

《参考》磯子区の人口と将来人口推計



※統計には年齢不詳者数を含みます。 出典：横浜市統計ポータルサイト 磯子区年齢別人口（平成 17・27・30 年 1 月 1 日現在）、横浜市将来人口推計（令和 3～57 年）

2015 年度の国勢調査推計値によると、磯子区は、高齢単身世帯が多い特徴があります。高齢者の社会的孤立を防ぐことは、大きな課題としてあげられます。また少子高齢化が進む中、持続可能なまちづくりを考えた場合、子育て支援や青少年育成の強化は課題としてあげられます。また外国人人口の年々増加することが見込まれ、お互いの住みやすいサポートの充実も課題です。地域社会の構成は、多様化しています。

これら状況に対し、磯子区は令和元年度、下記のような運営方針と目標達成に向けた施策を掲げています。特に「②ともに支えあい、健康でいきいきと暮らせるまち」においては、「子どもたちを健やかに育む取組」、「高齢者の自分らしい暮らしの支援」、「誰もが活躍できる取組推進」をあげ、地域課題解消に取り組んでいます。

基本目標 地域の皆様とともに作る笑顔あふれるまち・いそご

目標達成に向けた施策

- ① 魅力にあふれた住み続けたいまち
- ② ともに支えあい、健康でいきいきと暮らせるまち
- ③ 安全・安心で住みやすいまち

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

4 市の文化政策かつ使命への理解

6 磯子区民文化センター「6つの使命」

第 4 期に向けて設定された、磯子区民文化センター「6 つの使命」は、前述したような磯子区が抱える地域課題の解消、魅力にあふれた住み続けたいまちづくりの実現に寄与するものと、私たちは考えます。

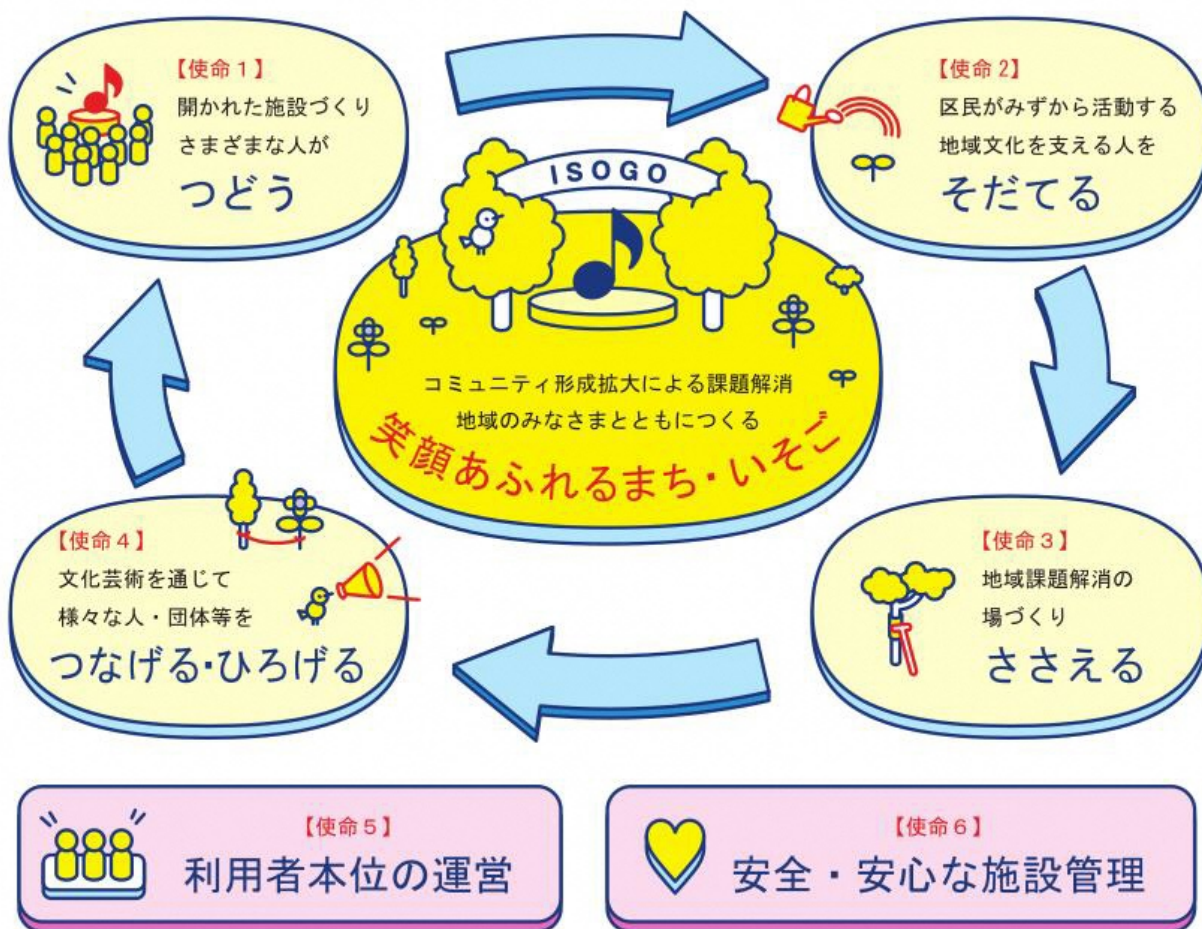
また6つの使命は互いに結びついており、ひとつの使命を集中的に実施するのではなく、6つを総合的に推進していくことが重要になると考えます。

私たちは、磯子区民文化センター「杉田劇場」開館以来、磯子のまちの地域力・区民力を活かし、文化力で地域や人をつなぎ、区民が活躍する魅力ある磯子のまちづくりに貢献することを掲げてきました。身近な地域の文化施設として、「区民とともにつくる、区民のための施設」として地域に根差した事業を積極的に行ってきました。

第 2 期の提案以来、「つどう」「そだてる」「ささえる」「つなげる」「ひろげる」の5つの事業方針をあげ、これらを循環することで、地域に文化の土壌を育み、種を蒔くことで、人と人との絆が生まれ、地域のコミュニティが育ち、人も街も豊かになっていくことを目指してきました。

第 4 期に向けて掲げられた「6つの使命」は、これまでの私たちが目指し、取り組んできた事業方針に通じており、今後社会の流れとともに、さらに重要度が増していると考えています。

第 3 期までに築いてきた地域との関係性、ネットワーク、事業のノウハウを活かし、さらに推進していきたいと考えます。



団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

5 応募理由

1 磯子区の状況

2017年に区制90周年を迎えた磯子区は横浜市の最も古い区のひとつです。昭和30年代から根岸湾の埋め立てにより、京浜工業地帯の一翼を担う重化学工業地帯がつくられ、汐見台や洋光台等で大規模開発、根岸線延伸によりベッドタウンとして人口が急増しました。

しかし1990年代以降、日本の製造業の国際競争力の低下にともない、磯子区内の企業も構造転換を余儀なくされ、従業員数は1973年をピークに減少しています。また当時開発された住宅や駅周辺に集積している高層住宅の老朽化、住民の高齢化が課題となっています。古くからの商店街は、消費者のライフスタイルの変化や経営者高齢化などにより活力の低下が懸念されています。

一方で若い年代の転入増加傾向は続いており、また外国人人口は年々増加しています。区民の構成、ニーズは多様化しています。

2 私たちが取り組んできたこと「日々の交流から地域課題を発見し、運営に活かす」

私たちは磯子区民文化センター杉田劇場開館以来、区民との協働をコンセプトに運営を行っています。学校や町内会、商店街等、積極的に地域の方と交流してきました。第3期からは、JR、企業、商店街、町内会、小中学校関係者、文化団体など地域の様々な主体が集まる「いそご文化円卓会議」を設け、地域課題の共有や対策についての意見交換を行っています。そのような中から、日常的に地域の課題等を発見し、運営に活かしてきました。

例えば「乳幼児を連れた保護者の方が出かけられる場所がない」という声を受け、0歳児から入場できるコンサートやロビーで気軽に楽しめるこども向け事業を開始しました。また平日の日中、地域にいるのは高齢者や子どもが多く、そこをつなぐ取組みとして、こどもたちと団塊世代以上のシニアで構成するリコーダーアンサンブル「杉劇リコーダーず」が生まれました。現在では自立的に活動し、30年度は地域の様々な場所、9箇所以上にアウトリーチを行っています。

2015年からはじまった「歌声プロジェクト」は、地域の小学校でこどもたちの歌声を録音し、近隣の商店街で流すものですが、「いそご文化円卓会議」の最初の成果として、私たちが小学校と商店街や住民が集まる会をつなぎ、実現しました。

私たちは開館以来、磯子の未来を育むこどもたちを対象とした事業を重視し、第3期は学校連携を強化しました。学校へのアウトリーチは従来も実施をしてきましたが、実際に杉田劇場に来館してもらい文化体験をしていただく事業を実施しました。この4年間で区内16の小学校のうち11校が参加し、文化芸術を本格的な劇場で体験してもらう機会をつくっています。

また区内の史跡、文化、歴史をめぐる「いそご文化資源発掘隊」、地域の伝統文化・資源を調査し、記録を残し、地域の歴史や古典・伝統技術を次世代に伝承し、ひろく普及する「伝承プログラム」を行い、自らが住んでいるいそごのまち・地域への愛着を育むきっかけづくりに取り組んでいます。

3 私たちが取り組んできたこと「誰でも気軽に来られる場所の実現」

私たちは「文化施設は公演のあるときしか開いていない」というイメージを払拭し、地域の方が気軽に集うところでありたいと考え、日々の運営を行っています。

例えば磯子区民文化センターは、磯子火災予防協会の会員であり、磯子地域防犯連絡所にもなっています。過去には磯子警察と共同で、振り込め詐欺対策をテーマとした芝居を現役警察官と区民が作って上演したこともあります。また全館を開放した「杉田劇場夏まつり」「杉田劇場冬まつり」の実施、ロビーを活用したこども達への事業「ロビーパフォーマンス」の実施等により、地域の方々の方が気軽に集う場所づくりを行ってきました。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

5 応募理由

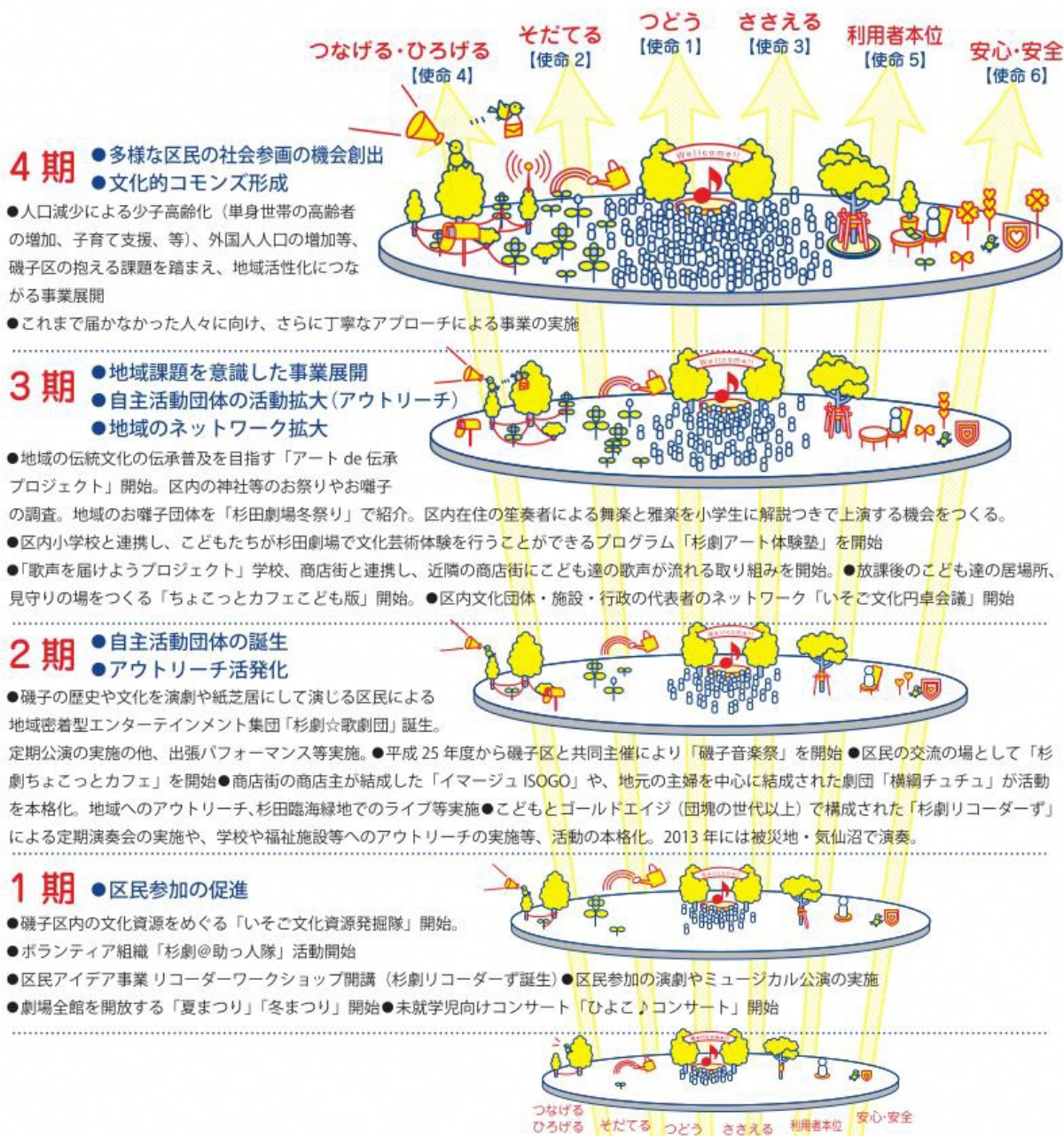
4 区民とともに、さらに広く、さらに丁寧に「笑顔あふれるまち・いそご」をつくりたい

私たちはこれまで、誰もが集う、開かれた杉田劇場を実現するために、様々な取り組みを行い、成果を上げてきました。

しかし磯子区状況から見える課題、学校や地域の方々との交流の中で見える課題を解消するためには、まだ十分とは言えません。これからの磯子区、これからの社会を目指した場合、私たちの役割、取り組むべきことはさらに増しているといえます。

例えば、こどもたち、高齢者、外国人居住者、障がいのある方、また様々な事情により地域コミュニティに参画できない方々へのアプローチは、十分ではありません。私たちはこれらを鑑み、第3期にすでに「こどもたちの帰宅後の居場所づくり」、「高齢者の居場所づくり」とりかかりました。今後は、多様な対象に向けた丁寧なアプローチを、地域と連携して行っていくことが必要と考えています。

私たちは、これまで磯子区で築いてきた区民との関係性、ネットワークを活かし、第4期に向けて文化の力で地域の活力を向上させ、磯子区の目指す「笑顔あふれるまち・いそご」実現に貢献したいと考えます。



4期 ●多様な区民の社会参画の機会創出 ●文化的commons形成

- 人口減少による少子高齢化（単身世帯の高齢者の増加、子育て支援、等）、外国人人口の増加等、磯子区の抱える課題を踏まえ、地域活性化につながる事業展開
- これまで届かなかった人々に向け、さらに丁寧なアプローチによる事業の実施

3期 ●地域課題を意識した事業展開 ●自主活動団体の活動拡大(アウトリーチ) ●地域のネットワーク拡大

- 地域の伝統文化の伝承普及を目指す「アート de 伝承プロジェクト」開始。区内の神社等のお祭りやお囃子の調査。地域のお囃子団体を「杉田劇場冬祭り」で紹介。区内在住の笙奏者による舞楽と雅楽を小学生に解説つきで上演する機会をつくる。
- 区内小学校と連携し、こどもたちが杉田劇場で文化芸術体験を行うことができるプログラム「杉劇アート体験塾」を開始
- 「歌声を届けようプロジェクト」学校、商店街と連携し、近隣の商店街にこども達の歌声が流れる取り組みを開始。●放課後のこども達の居場所、見守りの場をつくる「ちょこっとカフェこども版」開始。●区内文化団体・施設・行政の代表者のネットワーク「いそご文化円卓会議」開始

2期 ●自主活動団体の誕生 ●アウトリーチ活発化

- 磯子の歴史や文化を演劇や紙芝居にして演じる区民による地域密着型エンターテインメント集団「杉劇☆歌劇団」誕生。定期公演の実施の他、出張パフォーマンス等実施。●平成25年度から磯子区と共同主催により「磯子音楽祭」を開始 ●区民の交流の場として「杉劇ちょこっとカフェ」を開始 ●商店街の店主が結成した「イマージュ ISOGO」や、地元の主婦を中心に結成された劇団「横綱チユチュ」が活動を本格化。地域へのアウトリーチ、杉田臨海緑地でのライブ等実施 ●こどもとゴールドエイジ（団塊の世代以上）で構成された「杉劇リコーダーず」による定期演奏会の実施や、学校や福祉施設等へのアウトリーチの実施等、活動の本格化。2013年には被災地・気仙沼で演奏。

1期 ●区民参加の促進

- 磯子区内の文化資源をめぐる「いそご文化資源発掘隊」開始。
- ボランティア組織「杉劇@助っ人隊」活動開始
- 区民アイデア事業 リコーダーワークショップ開講（杉劇リコーダーず誕生） ●区民参加の演劇やミュージカル公演の実施
- 劇場全館を開放する「夏まつり」「冬まつり」開始 ●未就学児向けコンサート「ひよこコンサート」開始

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

6 運営組織の構造、開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

1 磯子区民文化センター杉田劇場 運営組織の考え方

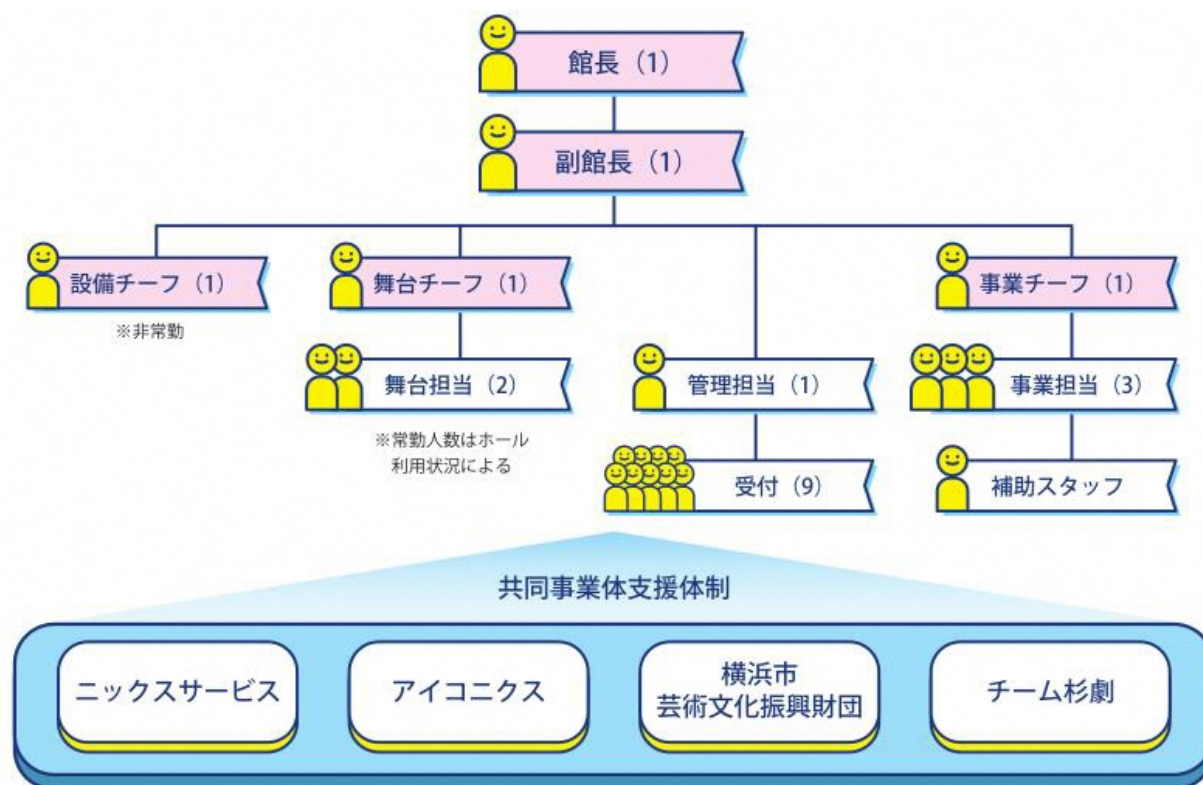
安全・安心・快適な杉田劇場を実現する、明確な責任体制

館長は区民文化センターの管理運営全体を統括する責任者として、とりわけ、事務局スタッフの人材育成を副館長とともに担い、事務局組織の強化を行います。副館長は施設運営面の実務責任者として配置し、各担当のチーフならびにスタッフの業務面を統括し、管理・設備・舞台・事業の4つの部門間の連携と業務遂行の管理を行います。また、管理担当者に指示を出し、受付スタッフをまとめ円滑で快適な施設利用を実現します。事業実施においては事業チーフを配置します。磯子区民文化センターの事業は、杉田劇場内だけにとどまらず、様々な場所へのアウトリーチ、地域の方との交流事業、こどもたちや高齢者の居場所づくり事業と多岐にわたります。これらすべての事業の進行状況、予算執行状況を把握し、担当者を統括し、事業計画を実行します。

また舞台チーフは、舞台スタッフをまとめ、利用者の快適な利用をサポートするだけでなく、舞台や公演実現における相談を受けるなど、利用者に寄り添ったホール運営を行います。また災害や予期せぬトラブルにおいて、事業チーフと連携して、ホール内の危機管理の責任者として機能します。

これら責任体制を明確にし、各責任者が常に情報共有を行うことで、スタッフ全体の意識統一を行い、利用者の方が安心して快適な文化活動を行い、様々な人たちが集い、交流する杉田劇場を運営していきます。

2 運営組織図



運営組織図

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

6 運営組織の構造、開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

3 職員の雇用関係と1日の勤務体制・休日設定等

職務	雇用形態	勤務体制	休日設定
館長	職員	1日7時間45分勤務	土日及び祝日の日数を1か月の休日数とし、ローテーションによる週休2日制
副館長	職員	1日7時間45分勤務/2交代シフト勤務	
事業チーフ	職員		
事業担当	職員		
管理担当	職員		
補助スタッフ	臨時雇用職員	1日6時間勤務/2交代シフト制	
受付	臨時雇用職員		
舞台チーフ	職員	ホール利用状況に合わせ、1~3名配置する	
舞台担当	職員	施設利用状況に応じ、事務室シフトに入る	
設備チーフ	職員	非常勤	

4 開館時間の設定

(1) 基本開館時間

開館時間は午前9時から午後10時としますが、準備や片付けのための延長利用等について、利用内容確認と他利用との調整を行い、可能な限り柔軟に対応いたします。

(2) 安全で円滑にご利用いただくための入替時間の設定

利用者に安心して利用いただけるように、利用区分の間に入れ替え時間を設け、機材等の点検を行い、安全性を確保します。またホールと練習系施設の利用開始時間をずらすことで、利用者受付や、利用後点検の集中を避け、利用者をお待たせすることなく、円滑にご利用いただくようにします。

(3) 利用区分



5 開館時間の設定

- ・ 公共施設としての安全性と清潔感を保ち、快適にご利用いただくため、また施設・設備の機能維持と長寿命化を図ることを目的に、利用率の低い火曜日を中心に毎月、施設点検のための休館日を設けます。
- ・ 建築後15年を経過し、建築設備や機器の劣化が進んでいます。ギャラリーの特大吊り戸の修繕など一定の日数が必要な案件や、横浜市による修繕工事に対応するため、連続する作業可能日を設けます。連続した休館日は、利用者の利便性と収益性を考慮し設定します。
- ・ 入居する商業施設(らびすた新杉田)が全施設一斉の設備点検や大規模修繕を実施する場合は、管理組合および所有者(横浜市磯子区)の要請により、必要に応じて休館日を設けます。また、大規模修繕等、設置者から要請があった場合は必要に応じて休館日を設けます。
- ・ 舞台設備やピアノ等の楽器点検調律、照度測定など、全館に影響が少なく個別室場で対応できる点検等は、開館中に利用状況に応じて実施します。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

6 運営組織の構造、開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

6 施設点検日に実施する点検・特別清掃等

施設点検日には下記の保守点検や定期清掃、検査等の作業を行います。

設備機器保守点検(月 1 回)	エスカレーター2基、搬入用エレベーター1基
設備機器保守点検 (年間所定回数実施)	空調設備、自動ドア、保安設備、ITV 設備、電話交換機、建具等
消防法、建築基準法等の対応	消防設備点検、防災管理点検、12 条点検、指定管理者点検
定期清掃	カーペット洗浄、床面清掃、扉・壁面清掃、金属部清掃、ガラス清掃、 照明器具清掃
定期検査	水質検査、ねずみ・害虫防除

※ 休館日の周知

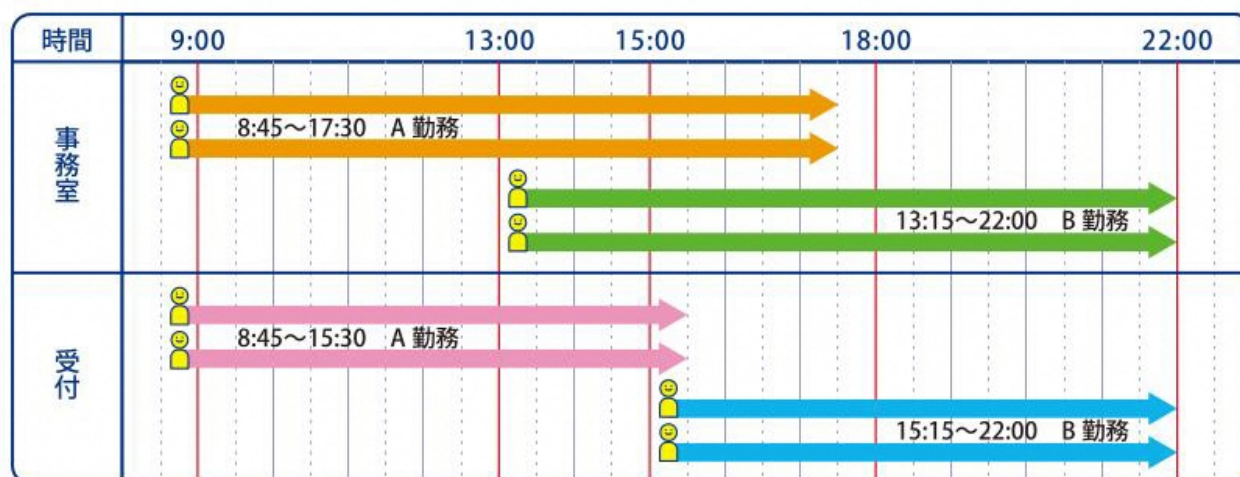
決定された休館日は、早期に1年分を公式ホームページで公開するほか、実施月の一か月前ごとにホームページ、受付窓口、施設内の掲示、イベントカレンダー等において周知を徹底します。

7 開館時間の勤務シフトについて

いつでも来館者への対応が可能であり、館内外でのトラブルが発生した場合でも、複数で対応が取れる体制を原則とします。また「労働基準法」「労働安全衛生法」を遵守した勤務シフトを作成し、職員の安全と健康に配慮した職場環境を作ります。

事務室	館長を除く事務室人員と舞台担当でシフトを組みます。 2交代勤務とし、午前～午後は2名、夜間は2名の体制を基本に、常時複数で対応できる体制とします。施設利用状況や事業等の状況に合わせ、配置します
受付	2交代勤務とし、常時2名を配置します。利用申請業務については、事務室職員を含め全職員で対応します。
舞台担当	ホールの利用がある場合は利用内容に合わせ、1名～3名を配置します。 舞台の担当者は各日程のホール利用時間に合わせて交代で勤務します。 またホール利用状況により、事務室の遅番シフトに加わります。

【1日の勤務(基本)】※この形態を基本として、状況により人員を増強。



勤務シフト

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

7 必要人材の配置と職能、主要人材の能力担保

1 配置についての基本的考え方

館長は統括責任者であるとともに施設の顔として、地域や他団体、学校等とのネットワークづくり等を積極的にを行います。副館長は、各部門のチーフから報告を受け指示を行う施設運営全般の実務の責任者となります。また、館長・副館長は協力して事務局スタッフの育成と組織強化に取り組むものとします。

事業実施においては事業チーフを配置します。磯子区民文化センターの事業は、杉田劇場内だけにとどまらず、様々な場所へのアウトリーチ、地域の方との交流事業、こどもたちや高齢者の居場所づくり事業と多岐にわたります。これらすべての事業の進行状況、予算執行状況を把握し、担当者を統括し、事業計画を実行します。舞台チーフは、舞台スタッフをまとめ、利用者の快適な利用をサポートするだけでなく、舞台や公演実現における相談を受けるなど、利用者に寄り添ったホール運営を行います。また災害や予期せぬトラブルにおいて、事業チーフと連携し、ホール内の危機管理の責任者として機能させます。

これら責任体制を明確にし、各責任者が常に情報共有を行うことで、スタッフ全体の意識統一を行い、利用者の方が安心して快適な文化活動を行い、様々な人たちが集い、交流する杉田劇場を運営していきます。

2 配置予定について

副館長を除く責任者については配置予定者が決まっています。副館長の配置については、文化施設の運営において豊富な実績がある、横浜市芸術文化振興財団から市民利用施設の経験が豊富な人材を配置します。

各担当者は、磯子区民文化センターの現配置人員を想定していますが、必要な職能等を再度、慎重に検討し、不足がある場合には、新規に採用します。

3 責任者の業務、職能、配置予定について

■ 館長

○ 業務分掌

- ・ 統括責任者、コンプライアンス責任者
- ・ 区、学校、商店街、区民団体、福祉施設、企業等、地域の関係づくり責任者
- ・ 施設の総合プロデュースならびに事務局スタッフ人材育成責任者

○ 必要な職能

- ・ 文化のトレンド、文化行政、社会情勢等、文化芸術に造詣が深いこと
- ・ 磯子区の文化芸術、芸術教育、地域特性への深い理解があること
- ・ 地域との関係づくりを行うコミュニケーション力があること、対外折衝力、交渉力を有すること
- ・ 文化施設ならびに市民利用施設での実務経験、事業実施の豊富な経験を有すること
- ・ アーティストや文化芸術団体、制作会社、教育関係者等にネットワークを持つこと

○ 配置予定者の経歴

経歴	
勤務形態	常勤

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

7 必要人材の配置と職能、主要人材の能力担保

■ 副館長

○業務分掌

- ・ 施設運営全般の実務責任者
- ・ 予算執行管理および業務計画・報告作成、出納管理責任者
- ・ 利用促進、サービス向上への取組み責任者、区、共同事業体との連絡調整
- ・ 防火管理責任者、危機管理、安全管理責任者
- ・ 施設管理責任者、建物・設備の維持管理および修繕管理責任者
- ・ 人材育成計画の策定と実施

○必要な職能

- ・ 文化施設運営における幅広い知識と実務経験があること
- ・ 館長を補佐し、施設のチームワーク形成を行うリーダーシップと実務遂行の責任力があること
- ・ 区民の要望等に対応できるコミュニケーション力があること
- ・ 危機管理能力があること

■ 事業チーフ

○業務分掌

- ・ 文化事業の企画、制作、実施の責任者
- ・ 地域連携(学校、商店街、地元企業、病院、福祉施設等)のコーディネート
- ・ 自主活動団体やボランティア等、区民との協働事業
- ・ 広報、情報発信

○必要な職能

- ・ 事業企画、制作、広報、プロモーションに豊かな経験があること
- ・ アートマネジメント、文化によるまちづくり等の基礎知識を有すること
- ・ 出演者や講師との連絡や交渉、事業参加者からの要望等に対応できるコミュニケーション能力を有すること
- ・ 地域に根差した視点を持った事業企画ができること

○配置予定者の経歴

経歴	
勤務形態	常勤

■ 舞台チーフ

○業務分掌

- ・ ホールの舞台機構・舞台音響・舞台照明等の操作及び利用者の安全管理
- ・ 舞台および舞台装置、音響機材、照明機材の維持管理
- ・ ホールやリハーサル室における音響、照明等の舞台技術に関する区民の相談窓口

○必要な職能

- ・ 安全・安心なホール運営を行える専門的な知識と技術力を有すること。
- ・ 公演中の地震発生や急病人発生等、いざというときに対応できる危機管理能力があること
- ・ 利用者の相談や要望に丁寧に応えることができるコミュニケーション力を有すること

○配置予定者経歴

経歴	
勤務形態	常勤

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

7 必要人材の配置と職能、主要人材の能力担保

■設備チーム

○業務分掌

- ・ 設備保守管理、日常及び定期清掃
- ・ 建物設備定期点検、指定管理者点検
- ・ 施設運営チーム、清掃作業員・設備点検者と連携し、不具合リストの作成と対応提案
- ・ 特定建築物年間管理計画の策定、報告
- ・ 小規模・大規模修繕等のサポート業務(社内建築士・施工管理技術者と連携)

○必要な職能

- ・ 建築物、設備管理、環境維持等に関する専門的な知識及び技術、特定建築物管理技術者

○配置予定者の経歴

経歴	
勤務形態	非常勤

4 担当者の業務、職能、配置等について

職名	業務	必要な職能	人数	勤務形態
事業担当①	・ 区民活動事業担当 (リコーダーず、杉劇☆歌劇団、アート de 伝承プロジェクト、磯子音楽祭、ボランティア統括)等	チーフの指示、支援を得た上で、次のような職能が必要 ・ 地域の方や出演者、スタッフ等、関係者と交渉、調整を行い、共同して事業を実現するコミュニケーション力 ・ 事業計画の詳細を具体化し、制作、事業実施する継続力・責任力 ・ 事業報告書、助成金・協賛金の申請書、プレゼンテーション資料の作成等、説明力	1名	常勤
事業担当②	・ 地域連携事業担当 (夏まつり・冬まつり、居場所づくり事業、ロビーパフォーマンス)等 ・ 共催公演担当		1名	常勤
事業担当③	・ 学校連携担当 (アート体験塾、教育プラットフォーム、歌声プロジェクト)等 ・ 広報担当		1名	常勤
補助スタッフ	・ 事業実施のための補助業務 ・ 施設運営に関わる補助業務	・ 利用者、関係者と丁寧に接するコミュニケーション力 ・ 誠実で正確な事務処理を進める能力	1名	常勤
管理担当①	・ 経理 ・ 受付等貸館業務(窓口管理) ・ 庶務	・ 利用者と丁寧に接し、ニーズに応えるコミュニケーション力 ・ 正確な事務処理を進める能力 ・ 他部門を支え、快適な職場環境を進める気配り力	1名	常勤
受付担当	・ 受付、申請手続き業務 ・ 利用前後の施設点検 ・ 事業実施時の案内業務	的確な事務処理とホスピタリティのある接客対応ができる力	9名	常勤
舞台担当	・ ホールの舞台・音響・照明に関する日常管理・点検・修理業務 ・ 利用者に関する助言・指導・協力 ・ アウトリーチ等での技術担当	・ 利用者と丁寧に接し、ニーズに応えるコミュニケーション力 ・ 舞台・音響・照明に関する幅広い知識と経験と、安全管理能力	2名	常勤

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

7 必要人材の配置と職能、主要人材の能力担保

5 職員育成について

(1) 磯子区民文化センター職員としての基礎的能力の維持

地域の文化拠点である区民文化センターの職員は、日常的に区民と接しています。高い接客力、コミュニケーション力が必要です。また区民からの相談に対し、いつでも、誰でも、同じレベルで応じることができる、施設運営・管理・文化事業全般に対する基礎的な知識は全ての職員に必要なになります。これら基礎的な知識を身に着けた上で、担当ごとに、さらに高度で専門的な知識を習得していくことが必要です。これらをふまえ、私たちは研修、マニュアルの整備を通じ、施設運営の高い基礎能力を維持します。

研 修	内 容	時 期 回 数
基 本 業 務 研 修	業務に必要な手続き、知識・技術の習得	採 用 時
予 約 シ ス テ ム 研 修	貸館に必要なシステムの取り扱いを習得	採 用 時
ノーマライゼーション研修	障がい者に対する接遇研修／バリアフリー公演での実習	年 1 回
コンプライアンス研修	個人情報保護研修／人権啓発研修／ハラスメント研修／ITセキュリティー研修	年 1 回
救 命 救 急 研 修	有事の際に必要な、救急救命の初期対応、AEDの使用方法を学ぶ	年 1 回
防 火 防 災 研 修 / 訓 練	防火防災訓練(火災、通報、消火)／消防設備等の位置、使用方法を再確認／消防計画および災害時行動計画の確認	年 2 回
災 害 時 対 応 研 修 / 訓 練	災害時対応訓練／交通遮断時、津波等発生時、帰宅困難者一時滞在所開設の際の、行動計画の確認／備蓄品の棚卸し	年 1 回
手 話 研 修 ・ 語 学 研 修	外国人対応や障がい者対応のための研修	随 時

《基礎マニュアル》 施設運営マニュアル、予約システムマニュアル、危機管理マニュアル

(2) 部門チーフによる育成(OJT)

担当業務においては、部門チーフがメンターとして各担当の育成を行います。(管理担当の育成は副館長)。日常的な業務指導の他、年に 2 回、各チーフが担当と面談を行います。チーフは状況については、館長・副館長に状況と、担当ごとの育成計画を提示します。

6 チームワーク醸成について

シフト勤務ですれ違いがちな中、確実に共有できる「申し送り」のルーティンを構築し、情報共有を徹底します。また、下記のような会議を開催し、職員が直接意見交換できる場所を設けます。各会議の手法においては、職員からの積極的な改善の提案を促します。

会 議	構成メンバー	会議内容	開催頻度
朝 礼	出勤スタッフ全員	毎朝の注意事項・連絡事項、スケジュール等確認	1 回/日
月例会議	常勤スタッフ	施設運営、事業企画、地域交流、舞台技術等、各部門の進捗や課題を共有する。利用者、参加者からの意見等の共有。運営全般に関する改善提案 等	1～2 回/月
全体会議	全スタッフ	建物設備点検、毎月の定期保守結果の報告 不具合案件の対応順位の確認 修繕検討と実施までのフローの確認	2 回/年

団 体 名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

8 施設の使命を達成するための取組 使命 1

【使命1】

磯子区の外国人、障がい者、様々な経済事情にある方、子どもや高齢者、性別にかかわらず幅広い属性の方などへ、社会的包摂の視点を踏まえ、音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れるための区民文化形成に貢献する。

【使命1を達成するために具体的な取組】

あらゆる人が集い、笑顔があふれる広場をつくります

私たちは、世代や性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、全ての人の持つ創造性を引き出す取組みを進めてきました。第4期は、磯子の未来を見据え、子どもたちへの取り組みに引き続き注力することと、今後の地域社会の課題から、次の新たな対象に向けた取組みを展開します。

- ① 今後拡大する外国人
- ② 様々な事情から、社会的に孤立しがちな方々
- ③ 今まで区民文化センターに関心のなかった方々

1 磯子区内の外国人就労者との交流会「WELCOMEいそご」を始めます。(年2回)(新規)

磯子に暮らす外国人の数は、年々増えています。杉田劇場ではこれまで、公演やワークショップに外国人に参加いただくことがありましたが、第4期は、磯子事業会や地元企業と連携し、磯子の企業で働いている外国人やその家族が、文化を通じて地域の方々とはふれあい交流する場をつくる事業を新たにはじめます。

学校や地域の合唱団との交流や、地域ならではの文化を体験してもらう機会として、栗木お囃子保存会、森浅間神社お囃子保存会、岡村一友會等の協力の下、磯子区の伝統文化の体験、浴衣の着付体験、地域の祭りへの参加などを行います。

外国人の方々だけでなく、参加者全員がこの事業を通じて、地域を知り、愛着を持つ機会となるとともに、他国の文化を理解し、交流する機会となります。



フレンドシップパフォーマンス(2019.1)

2 あらゆる人たちが参加し、楽しめる作品展「杉劇ニコニコ見本市」を始めます。(年1回)(新規)

地域作業所や就労支援団体等と連携し、障がいのある人や様々な困難を抱える人が、磯子で活動する若いアーティストやクリエイターたちと協力し、ギャラリーやロビー空間を活用した作品展を開催します。

来場いただくすべての方々が必要な表現を楽しむことができる展覧会とするとともに、若いアーティストの活動紹介、地域作業所や就労支援団体の活動紹介を行うコーナーを設けます。



塚田麻美展(2018. 8)

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

8 施設の使命を達成するための取組 使命 1

3 こどもたちに文化芸術の豊かさや発信する力を体験してもらい、創造する力や考える力を育みます

杉田劇場から学校へでかける(アウトリーチ)、学校から杉田劇場に来てもらう(インリーチ)をあわせて行い、こどもたちに様々な文化体験の機会を設けます。

(1) 杉劇アート体験塾(インリーチ)

磯子区内小学校(特別支援学級も含める)を学校単位で杉田劇場に招き、本物の舞台芸術を体験できる事業を実施します。磯子のこどもたちに伝えたいテーマを設け、オリジナルプログラムを作り、ホールで上演・体験学習を行います。磯子区内の小学校全 16 校を対象に磯子区小学校長会で呼びかけます。

〈平成 30 年度実績〉 区内小学校 6 校 528 名



アート体験塾(朗読劇)



アート体験塾(雅楽)



アート体験塾(時代劇)

(2) 横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム(アウトリーチ)

横浜市が推進する、アーティストを学校に派遣し、こどもたちの芸術体験の機会をつくるアウトリーチ事業のコーディネーターをつとめます。磯子区内の小・中学校の要望にあわせながら、音楽、演劇、ダンス、美術などのアーティストを派遣し、学校教育とアートをつなぎます。

〈平成 30 年度実績〉 区内小学校 4 校 352 名 (邦楽 2 校、雅楽 1 校、合唱指導 1 校)

4 地域の誰もが杉田劇場に集い、交流する機会をつくります

杉田劇場夏まつり、冬まつりライブ、磯子音楽祭

施設を開放し、文化芸術を切り口に、誰もが集まり、交流できる機会を設けます。

夏の施設開放デーである、「杉田劇場夏まつり」、地元のお囃子保存会や商店街のおやじバンド、磯子で活動するインディーズバンド、杉劇☆歌劇団等が勢ぞろいする「冬まつりライブ」、地元文化団体による音楽の祭典「磯子音楽祭」と、地域の誰もが集い、交流できる事業を行います。



磯子音楽祭

5 幅広い層に幅広いジャンルの文化芸術を身近な劇場で楽しんでもらう工夫をします

(1) 幅広い層へ情報を届ける広報の実施

第 4 期からは、地域作業所や就労支援団体、地元企業、飲食店、コンビニ、スーパーマーケット等にPR協力を依頼し、外国人や、杉田劇場に足を運ぶ機会のない人、情報が届かなかったところにも杉田劇場の情報等が届くように工夫をします。また、磯子区内の神奈川韓国総合教育院等と連携し、ホームページを多言語化(英、中、ハングル)を実施。また、杉田劇場の公式 LINE の開始等、情報伝達手法の幅も広がります。

(2) 幅広い愛好層が楽しめる多彩な事業の実施

クラシック、ジャズ、ポピュラー音楽、邦楽、民俗音楽、映画音楽、歌曲、ダンス等、多彩なジャンルの文化事業を行うことで、あらゆる人が文化芸術を楽しむことができる事業展開を行います。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

8 施設の使命を達成するための取組 使命1

【令和2年度事業一覧】★印は新規事業(5本)

No	項目	事業名	内容	会場	時期	目標人数
1	1	★WELCOME いそご	磯子の企業で働いている外国人就労者やその家族と地域の人々が交流できる場	コスモス地域	6月 8月	35
2	2	★杉劇ニコニコ見本市	地域作業所や就労支援団体等と連携 自由な表現を楽しむ作品展	ギャラリーロビー	3月	100
3	3(1)	杉劇アート体験塾① 横浜夢座「真昼の夕焼け」 朗読：五大路子	横浜大空襲の体験をした少年と少女のオリジナル物語の朗読劇。	ホール	6月	200
4	3(2)	杉劇アート体験塾② 雅楽の体験、能の体験	日本の古来の伝統芸能 磯子区在住の名手による体験	ホール	1月	200
5	3(3)	杉劇アート体験塾③ 日本の大衆芸能・時代劇	殺陣の体験と昔の暮らし、作法のレクチャー	ホール	11月	200
6	3(2)	横浜市芸術文化教育プラットフォーム ホーム学校プログラム	アーティストを学校に派遣し、子ども達の芸術体験の機会をつくる アウトリーチ事業のコーディネーター	アウトリーチ	通年	400
7	4	杉田劇場夏まつり	施設を開放し、文化芸術を切り口に、誰もが集まり、交流できる機会	全館	8月	1,000
8	4	杉田劇場冬まつりライブ	地元のお囃子保存会やバンド、インディーズバンド等で行うライブ	ホール	2月	270
9	4	磯子音楽祭	地元演奏団体による音楽の祭典 プレコンサートあり	ホール	12月	270
10	5(1)	広報	ホームページの多言語化 杉田劇場の公式LINEの開始等		随時	
12	5(2)	★アート to 出会おう！ アート de 話そう！	アーティストが直接語りかけながら演奏等を行う	コスモス	11月	50
13	5(2)	★さあ、エンタテインメントの世界にGO!!	初めて来る人大歓迎 アニメ等の声優によるトークやパフォーマンス	コスモス	7月	50
17	5(2)	フレンドシップパフォーマンス	海外アーティストと小中学生の文化交流	ホール コスモス ほか	10月	20
18	5(2)	いそごふるさと寄席	笑点にレギュラー出演をしている落語家が出る寄席。地元商店街のバックアップにより開催	ホール	1～2月	270
19	5(2)	横浜夢座公演	戦争体験などを語る音楽朗読劇または戦争を生き抜いた女性をテーマにした芝居などの上演	ホール	6月	270
20	5(2)	劇団若獅子	新国劇を受け継いだ本格的時代劇 江戸時代の武家や庶民の悲哀を演じる芝居	ホール	11月	270
21	5(2)	新シリーズ ★磯子の名手たち I	邦楽、舞踊、地元のジャズピアニスト、世界を活躍の場に行っている若きピアニスト、オペラ歌手など磯子発の名手たちを紹介する新企画。 毎年、1～2人が出演	ホール	6月	270
22	5(2)	気仙沼復興支援ジャズライブ	横浜JAZZ協会と連携 気仙沼のジュニアジャズバンドを応援するためのチャリティーライブ	ホール	8月	270
23	5(2)	クラシック音楽コンサート	著名な邦人アーティスト、海外演奏家などによる室内楽など	ホール	2月	270

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

8 施設の使命を達成するための取組 使命 1		
【提案者が提案する指標】※提案者記載部分		
	2 年目	5 年目
定量指標①: 社会包摂の視点による文化事業の実施	「杉劇ニコニコ見本市」 参加団体 3団体	「杉劇ニコニコ見本市」 参加団 5団体
定量指標② こどもが文化芸術に触れる機会の拡大	杉劇アート体験塾、横浜市芸術文化教育プラットフォーム参加校 5年間のうちに区内全小学校が参加している	
【業務の基準で設定している指標】		
	2 年目	5 年目
定量指標①: 年齢別の来場者・参加者数/エリア総人口比の測定、外国人の来場者・参加者数/エリア総人口比の測定(アンケート集計)。(属性別総人口比。例: 来場者〇人の内~40代が〇万人で全体の〇%)	1 年齢別 15歳未満(エリア総人口比約12%) 年間の事業参加者数約 10,000人 の内、学校連携事業の参加児童数 1,000人(約10%) ・杉劇アート体験塾 ・横浜市教育プラットフォーム ・歌声プロジェクト(使命4) 2 外国人(エリア総人口比約3%) 外国人との交流事業「WELCOME いそご」への参加人数 35人 (過去3年間の磯子区外国人人口増加数の平均350人の1割)	1 年齢別 15歳未満(エリア総人口比約12%) 事業参加者数約10,000人の内、学校連携事業の参加児童数 1,200人(約12%) ・杉劇アート体験塾 ・横浜市教育プラットフォーム ・歌声プロジェクト(使命4) 2 外国人(エリア総人口比約3%) 外国人との交流事業「WELCOME いそご」への参加人数 40人(過去3年間の磯子区外国人人口増加数の平均350人の1割)
定量指標②: 自主事業をきっかけに、変化を起こすことができたかどうかの確認(アンケート集計)。	アンケートの該当項目にコメントした人の割合 30%以上	アンケートの該当項目にコメントした人の割合 50%以上
定量指標③: 来場者(参加者)満足度(アンケート集計)	公演内容、スタッフ対応、施設の使い心地のどれも満足と回答 80%以上	公演内容、スタッフ対応、施設の使い心地のどれも満足と回答 80%以上
定量指標④: 初めて磯子区民文化センターに来た人の数(アンケート集計)。	50%	50%
定量指標⑤: アンケート回収率の数値設定	18%	20%
定性指標①: 参加者数名に事業終了後にインタビューを行い、自分自身の考えが変わったかどうか、理解が深まったかどうかをヒアリング(インタビュー調査)	年間10事業程度(2件/1事業)において、インタビューを実施。 2年間の累計40件の声が蓄積・検討され、施設運営に活かされている	年間10事業程度(2件/1事業)において、インタビューを実施。 5年間の累計100件の声が蓄積・検討され、運営に活かされている
定性指標②: 施設利用者の声(インタビュー調査)	毎月2件程度のインタビューの実施。 2年間の累計48件の声が蓄積され、運営に活かされている	毎月2件程度のインタビューの実施。 5年間の累計120件の声が蓄積され、運営に活かされている
【上記の取組を行う理由】		
<p>文化芸術の特色の一つに、社会包摂機能があります。文化は寛容で、あらゆるもの・人を受容します。また自己肯定感や喜び、満足感を感じることができる力もあります。国籍、性別、子ども、高齢者、障がいの有無等に関わらず、すべての人に、多様な文化に触れる機会を作り、文化活動に参加しやすい環境を作ります。</p> <p>私たちはこれまでも、様々な方が集える杉田劇場を目指してきました。第4期はさらに対象を広げ、あらたな取り組みを開始します。またこれまでも注力してきた学校との連携に引き続き取り組みます。これらの視点から上記指標を設定いたします。</p>		
団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／ 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体	

9 施設の使命を達成するための取組 使命2

【使命2】

芸術文化に関する様々な参加の窓口を用意し、地域住民が潜在的に持つ文化芸術活動の可能性を広げることに貢献する。また、地域で文化活動を主導する人材を増やす。

【使命2を達成するために具体的な取組】

すべての区民が文化の担い手 一人ひとりが生きる力を育む場になります

全ての区民が持つ文化の担い手としての力を多様な糸口から引出し、それぞれに施設や地域で活かしていく取組みを進めてきましたが、さらに、広げ、力を高め、それぞれの活動が自立していくように支援します。文化芸術の力を地域の力、暮らしの力としていきます。

1 杉劇@助っ人隊(ボランティア組織)メンバーのモチベーションを高め、活躍の場を広げます

もっと学びたい、文化活動の支援をしたい、文化芸術活動を深めたい、誰かの役に立ちたいなど、杉田劇場に相談に来た方々のやる気を形にするために、ボランティア組織・杉劇@助っ人隊を作りました。好奇心旺盛で元気なシニア世代を中心とした現メンバーは、ロビーパフォーマンスの企画制作、主催公演時のサポート役をとして活動しています。

第4期からは、サポート業務からステップアップし、アウトリーチ活動や自主事業のヒアリング調査や事業提案等、各々の特性に合った活躍の場を広げます。また、それぞれが関わっている地域文化活動の中心的な促進者(ファシリテーター)としての活動を深め、また、文化に関心の高いメンバーならではの視点で、杉田劇場と地域をつなぐパイプ役となるような取組みを行います。



ロビーパフォーマンスを運営する杉劇@助っ人隊

2 杉田劇場発、「杉劇リコーダーず」が地域の課題解決のために、アウトリーチ活動を拡大します

区民企画アイデア募集から生まれた「杉劇リコーダーず」は、2006年7月に結成しました。8歳から87歳まで、50名強の区民中心の異世代交流リコーダーアンサンブルのチームです。団員の中で、楽譜を作る人、各パートのとりまとめをする人、自主練習を指導する人、子どもたちに指導する人など、自主的に役割を持ち、常に新しい目標(出演の機会)に向かって、自立的に活動しています。これまでも杉田劇場を中心とした演奏活動の他、地域でのアウトリーチ、他都市との交流、気仙沼復興支援のための活動等を行っています。また、子どもたちメンバーは小学校3年生の音楽の教科書(現在使用中のもの)にも取り上げられています。

これまでの活動を通じ、メンバーには音楽で地域に貢献したいという意識、誇りが定着してきました。

これを受け、第4期は、高齢化や商店街の活性化、子育て支援などに関心を持っているメンバーが中心となって、団員自らアウトリーチ先を検討・交渉し、実現させる社会貢献活動の幅を広げていきます。病院や子育てサークルや子育てフェスタで、パフォーマンスを企画・演奏をし、文化活動を主導する主体としても機能を発揮していきます。



音楽の教科書に取り上げられた杉劇リコーダーず

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコンクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

9 施設の使命を達成するための取組 使命2

3 地域発、演奏団体・劇団が杉田劇場で本格的な舞台づくり、舞台公演をともに創ります

地元出身のアーティストや地元で文化活動を行う団体は、障がいの有無に関わらず、いろいろなメンバーで構成されています。その文化団体が杉田劇場で年に1回、杉田劇場と共に大掛かりな舞台公演を創ります。企画、装置、道具作り、劇場の機能を十分に生かした舞台づくりをします。こどもからシニア世代まで、幅広い層の団員たちは、本公演への出演だけでなく、スタッフとしても制作過程から参加し、公演づくりを学びます。失敗や喜びを仲間と分かち合い、公演が実現するまでの過程で、強い絆で結ばれたコミュニティが生まれます。

4 地元の歴史や文化に愛着を感じる区民を増やし、地域文化の担い手を育成します

・ いそご文化資源発掘隊

地域の文化資源を探し、郷土の歴史や文化に深くかかわることを大切に思う区民を発掘し、区民は発掘されたこと(存在意義を認められたこと)でわがまちへの愛着がさらに増し、活躍の場が広がります。地域の協力者となってもらいます。

文化資源を発掘すればするほど、地域の協力者が増えていきます。地域の協力者は、地域で文化活動を主導する人材へと進化していきます。

・ こども文化資源発掘隊

こどもにも磯子の文化資源に興味関心を持ってもらうために、夏休みに実施します。

・ 杉劇☆歌劇団

杉田劇場で生まれた杉劇☆歌劇団が、地域の文化伝承のために、地域の伝統文化や歴史にかかわることを題材にした芝居を上演し、普及活動をすることで、地域の文化の担い手の一団体として育成します。

・ 学校(教員)へのアプローチ

磯子区音楽教育研究会等の研修プログラムで地域の伝統文化を学ぶ「古典芸能講座」を実施します。学校教員に地域に根差した伝統芸能や伝統工芸を知ってもらい、学校教育に地域の歴史文化を活かしてもらうことで、より区内のこどもたちに伝統芸能や伝統工芸を身近に感じてもらうきっかけとします。



区内の資源を探しに出かけるいそご文化資源発掘隊



杉劇☆歌劇団のステージ

5 様々なバックボーンのインターン・職業体験の受け入れ

中学校の職業体験、小学校の職場体験、大学生のインターンなど受け入れることで、地域の文化施設運営の仕事に関心を高めてもらい、未来の担い手育成につなげます。

国際文化交流を兼ねて、横浜市からの打診があり、台湾の大学生をインターンとして受け入れたこともあります。第4期も、広く受け入れていきます。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

9 施設の使命を達成するための取組 使命2

【令和2年度事業一覧】★印は新規事業(1本)

No	項目	事業名	内容	会場	時期	目標人数
1	1	杉劇@助っ人隊	ロビーパフォーマンスの企画制作、主催公演時のレセプションなど、杉田劇場をサポートする区民ボランティア組織	ホール コスモス ロビー他	通年	20
2	2	杉劇リコーダーズ 通常活動	杉田劇場で生まれた世代を超えたりコーダーアンサンブルのワークショップ	コスモス	6月～3月	50
3	2	杉劇リコーダーズ アウトリーチ	いそご区民活動フォーラム、ぶらら夏まつり、杉田八幡宮奉納演舞、いそごまつり、洋光台第3小コミハ、根岸マンションクリスマス、消防出初式、岡村公園防災ふれあいフェスタなど	アウトリーチ	通年	—
4	2	杉劇リコーダーズ 定期演奏会	年に1度ワークショップの集大成 委嘱作品あり。映像つき、朗読付音楽物語を演奏	ホール	3月	270
5	3	劇団横綱チュチュ	地元の保育園の卒園児と保護者がつくり、杉田劇場とともに育ってきた区民が主体的に運営する劇団	ホール	11月	1,080
6	3	劇団系	杉田劇場のワークショップ、杉劇☆歌劇団と杉劇リコーダーズを卒業生したこどもたちと地元のカメラマンが立ち上げた劇団	ホール	3月	120
7	3	イマージュ ISOGO	地元商店街のおやじバンドたちが作った地元バンドサークルイマージュ ISOGO の祭典。参加メンバーが増え、地域での活躍の場をひろげている。	ホール	6月	270
8	4	いそご文化資源 発掘隊	いそごの地域文化資源を区民とともに発掘する	アウトリーチ	年3回	60
9	4	こども文化資源 発掘隊	こどもと保護者を対象に いそごの地域文化資源を発掘する	アウトリーチ	8月	20
10	4	杉劇☆歌劇団 通常活動	地域で残しておきたいもの・ことを題材に歌と踊りを加えた創作芝居のワークショップ	コスモス	8月～2月	20
11	4	杉劇☆歌劇団 アウトリーチ	杉田八幡宮奉納演舞、いそごまつり、防災フェスタなど	アウトリーチ	通年	—
12	4	杉劇☆歌劇団 本公演	年に1度ワークショップの集大成 1年間かけて作った創作芝居の発表 杉田劇場冬まつりライブに出演	ホール	2月	270
13	4	教員への アプローチ	区内の小学校16校の教職員を対象に文化芸術の講座を開講	アウトリーチ	年1回	40
14	1,2, 3,4	★人材育成 ワークショップ	助っ人隊やリコーダーズ、発掘隊など地域の担い手対象に、人材育成ワークショップ	コスモス 地域	年4回	40

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

9 施設の使命を達成するための取組 使命2		
【提案者が提案する指標】※提案者記載部分		
	2年目	5年目
杉劇リコーダーズ、杉劇☆歌劇団の地域へのアウトリーチ数	10回	10回
杉劇リコーダーズから地域のファシリテーターを育てる	2人	10人
ワークショップ参加者、ボランティアの発案・主導により実施した事業数	5年間のうちに10事業	
【業務の基準で設定している指標】	目標値※提案者記載部分	
	数値が記載してある項目は、業務の基準で設定した数値のため変更しないでください	
	2年目	5年目
定量指標①:事業のメニューのジャンル数	ワークショップ等区民参加型事業のジャンル数 6ジャンル	ワークショップ等区民参加型事業のジャンル数 6ジャンル
定量指標②:文化活動の企画・運営に携わる動機付けになったかの確認(アンケート集計)	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の50%以上	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の50%以上
定量指標③:来場者(参加者)満足度(アンケート集計)	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の80%以上	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の80%以上
定量指標④:アンケート回収率の数値設定	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の70%以上	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の70%以上
定性指標:参加者数名に事業終了後にインタビューを行い、自分自身の考えが変わったかどうか、理解が深まったかどうかをヒアリング(インタビュー調査)	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の内、毎年12人(2人/@1事業)にインタビューし、2年間の累計24人の声が蓄積され、事業運営に生かされている。	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の内、毎年12人(2人/@1事業)にインタビューし、5年間の累計60人の声が蓄積され、事業運営に生かされている。
定性指標:参加者数名に事業終了後にインタビューを行い、磯子区民文化センター以外でも文化活動を続けたいかどうかをヒアリング(インタビュー調査)	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の内、毎年12人(2人/@1事業)にインタビューし、2年間の累計24人の声が蓄積され、事業運営に生かされている。	ワークショップ等区民参加型事業に参加した人の内、毎年12人(2人/@1事業)にインタビューし、5年間の累計60人の声が蓄積され、事業運営に生かされている。
【上記の取組を行う理由】		
<p>誰かのために役に立ちたい、何かの役に立ちたい、地域の活動に参加したい、文化活動に関わりたいという人たちは、地域の中に多く存在しています。文化活動を通じて生まれる新たなコミュニティの中で、参加することにより自分が地域で必要とされているという実感(自己肯定感)が持てる区民を増やすために、活躍の場を作り、また、地域の文化活動のリーダー的な存在になってもらうために、上記の取り組みを行います。</p> <p>定量指標①の事業のメニュージャンル数は、参加の窓口数と捉え、ジャンルとして、①助っ人隊(ボランティア)、②リコーダーズ(音楽)、③歌劇団(パフォーマンス)、④こども発掘隊(地域資源発掘)、⑤おとな発掘隊(地域資源発掘)、⑥教員講座(教育)を考えています。指標に記載した「ワークショップ等区民参加型事業」は基本的にこれら6つの事業を想定しています。</p> <p>私たちはこれら事業を通じて、地域文化活動への窓口の設置、および文化活動の担い手をつくることを目標としており、上記指標を設定いたしました。</p>		
団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス 共同事業体	

10 施設の使命を達成するための取組 使命3

【使命3】

地域が抱える課題に対して、様々なアプローチにより、文化芸術活動の可能性を広げることにつながる。

【使命3を達成するために具体的な取組】

文化の力とは 生きる力・地域を創る力・バリアを乗り越える力 区民の文化の力を結集する広場になりたい

磯子にいれば子育てが楽しい、生き生きとした暮らしができる。そういつてくださる方々を文化の力でさらに、増やしていきたい。人間関係や社会との関係に悩んだり、居場所を見失ったとき、ふらっと来館してもらえそうな広場になりたい。

1 子育てを支援し、未就学児や親子に芸術文化に触れる機会や居場所・コミュニティの場を作ります

(1) 0歳から入場可能な演奏会 ひよこ♪コンサートの開催

就学児以上が対象のことが多い、コンサートを0才から入場可能にし、未就学児と子育て世代を対象に、舞台の魅力いっぱいの参加型コンサートです。ホワイエでは、絵本を楽しむ場所や授乳スペース、おむつ替えスペースも用意し、隣接した保育園や磯子区子育て支援連絡会や子育てサークルの協力により、交流・情報収集・仲間づくりの場を設け、子育てを支援します。本事業は2006年、区民の声から生まれた事業で、ロングラン。ひよこコンサートに参加した子どもたちが、今、小学生・中学生となり、ワークショップの参加者となって、杉田劇場に戻ってきています。



ひよこコンサート(クリスマス)

(2) ロビーパフォーマンス 毎月開催(無料)

オープンスペースのロビーで平日の日中に開催する、誰でも気軽に楽しめるパフォーマンスを行います。親子連れや子どもたちを中心に、近隣保育園や近隣企業内保育園の園児、横浜市南部地域療育センターに通所している障がいのある子どもたち、地域の高齢者等、様々な人々が集い、誰もが楽しめる紙芝居、歌、手遊び、楽器演奏、踊り、折紙、アート体験等を杉劇@助っ人隊(ボランティア)が中心となって運営し、毎月開催します。



ピアノの音楽に合わせてぎわろロビーパフォーマンス

(3) おでかけロビーパフォーマンス①

子育てサークル (無料)(新規)

磯子区子育て支援連絡会と協力しあい、地域の子育てサークルや子育てフェスタにロビーパフォーマンスを届けます。子育てサークルの方たちにもロビーパフォーマンスに協力してもらおう機会を作ります。

(4) おでかけロビーパフォーマンス②

横浜市南部地域療育センター (無料)(新規)

横浜市南部地域療育センターに出向いて、通所している障がいのある子どもたちを対象に、ロビーパフォーマンスを届けます(新規)

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

10 施設の使命を達成するための取組 使命3

(5) ジェイコブ・コーラーと英語であそぼ(新規)

アメリカ人でこどものための英語教室を主宰しているシネマティックジャズピアニスト、ジェイコブ・コーラーが子どもたちに英語でミュージックパフォーマンスをします。



ジェイコブ・コーラー(2018年ロビーミニコンサート)

2 高齢者や放課後の子ども達など、自宅でひとりになりがちな人々のための居場所づくりを行います

(1) 高齢者を中心とした大人の居場所づくり(杉劇ちょこっとカフェ)

カフェのように好きな時間だけ過ごす出入り自由な空間で、レコード鑑賞や、地域の話、懐かしい記憶などのおしゃべり、交流を楽しむ事業です。車椅子の方なども参加できるバリアフリーな空間を用意します。参加者の中で、関心のある方には、趣味や人生経験を活かして、ちょこっとカフェの運営を担ってまいります。また「いそご文化資源発掘隊」、「杉劇リコーダーず」、「杉劇☆歌劇団」への参加や「杉劇@助っ人隊」への登録を案内し、コミュニティへの参画の促進を行います。



杉劇ちょこっとカフェ子ども版

(2) 放課後の子どもたちの居場所づくり

(杉劇ちょこっとカフェ子ども版)

社会が子どもを育てる。学校でも家でもないけれど、こどもの居場所として、文化施設も仲間入り。

磯子区青少年の地域活動拠点「イソカツ」と連携し、放課後の子どもたちの居場所づくり「杉劇ちょこっとカフェ子ども版」を行っています。家に帰っても夕方までは一人で過ごしている子どもたちが集まって、街の先生に指導をしてもらいながら、ワイワイガヤガヤと作品作りを楽しみ、ほっこりとゆったりとした時間をみんなでいっしょに過ごします。第3期はMOA美術館横浜市南部児童作品展や、若者の自立支援団体、認定NPOコロンブスアカデミーの子どもたちの美術展も行い、作品を鑑賞しにくる保護者や子どもたちへも、杉劇ちょこっとカフェ子ども版をPRできました。第4期は、磯子区の放課後キッズクラブと連携して、居場所となる事業をさらに拡大していきます。

3 障がいのある人や生活困窮世帯の子どもたちにご招待シート(公会堂100席/杉劇50席)を設けます

磯子音楽祭(再掲)は、年に1度12月に開催するわがまち磯子の音楽の祭典。磯子の名手たち、芸術文化団体、子どもから高齢者までが出演します。一年ごとに磯子公会堂と杉田劇場で開催。それぞれの施設の特性を活かし多彩なプログラムを創っています。また、障がいのある人や生活困窮世帯の子どもたちに招待シートを用意しています。また、音楽に関わりがない方にも参加してもらえるように、わがまち磯子の作文を公募し音楽祭で披露するなど、区民のための親しみやすい音楽祭に仕上げています。その結果、区民が多く参加することで、地元企業からの協賛もいただいています。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

10 施設の使命を達成するための取組 使命3

4 地域課題への気づきの場として「杉田劇場夏まつり」(再掲)

様々な理由で地域生活になじめない状態に方たちに対しても、関係団体協力のもと、積極的な運営参加を図ります。地域の誰もが杉田劇場に集い、交流する「杉田劇場夏まつり」には、一見、文化施設に直接関係がないと思われる団体も多く参加しています。行政(磯子区生活支援課、磯子区高齢障害支援課、磯子区生活衛生課など)、JR、消防、警察、地域作業所、NPO、保育園、小中学校、町内会、地元企業、地元の商店街等に働きかけ、地域社会そのものを縮尺したかのような参加団体が夏まつりに出現し、日ごろの活動を紹介します。そこに、磯子べんきょう会(生活保護世帯や生活困窮状況にある世帯の子どもに対する磯子区寄り添い型学習支援)の子どもたちや、イソカツ(磯子区青少年活動拠点、若者の自立支援)に参加している中高生などが運営者側として夏まつりを手伝い、来館することもたち、親子連れ、地元企業で就労する外国人とその家族などと触れ合いながら、一緒に過ごす1日にもなっています。杉田劇場夏まつりの中で行政と地域、子どもたちや高齢者までが一体となって、文化体験を共有し、それぞれがそれぞれをもてなしています。地域の方々は夏まつりに参加することで、身近な地域の課題に気づき、考える機会ともなります。



杉田劇場夏まつり

【令和2年度事業一覧】★印は新規事業

No	項目	事業名	内容	会場	時期	目標人数
1	1(1)	ひよこコンサート ① 夏 ② クリスマス ③ 春休み	0歳から入場可能 未就学児と子育て世代を対象に、参加型のコンサート。文化体験や交流・情報収集・仲間づくりの場を設け、子育て支援を行う	ホール	① 8月 ② 12月 ③ 3月	① 540 ② 540 ③ 540
2	1(2)	ロビーパフォーマンス	オープンスペースのロビーで平日の日中に開催する だれでも気軽に楽しめるパフォーマンス	ロビー	毎月	年 360人
3	1(3)	★おでかけ パフォーマンス 子育てサークル	磯子区子育て支援連絡会と協力し、地域の子育てサークルなどにロビーパフォーマンスを届ける	アウトリーチ	年2回	—
4	1(4)	★おでかけ パフォーマンス 横浜市南部地域療育センター	通所している障がいのある子どもたちを対象に、ロビーパフォーマンスを届ける	アウトリーチ	年3回	—
6	1(5)	★ジェイコブ・コーラーと 英語であそぼ	ピアニストのJ. コーラーが子どもたちに英語でミュージックパフォーマンス	コスモス	7月	60
7	2(1)	杉劇ちよこつとカフェ	レコード鑑賞や地域の話、懐かしい記憶などで交流を楽しむ事業	コスモス	年3回	年 90人
5	2(2)	ちよこつとカフェ子ども版	「イソカツ」と連携した、放課後の子どもたちの居場所づくり	ロビー	6月 9月 1月	年 60人

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

10 施設の使命を達成するための取組 使命3		
【提案者が提案する指標】※提案者記載部分		
	2年目	5年目
病院・福祉施設との連携事業数(アウトリーチ含む)	2	5
「ちょこっとカフェこども版」実施直後の連携団体とのレビューの実施	実施後、関係者全員でレビューを実施。気づきを共有するとともに、次回の改善につなげる	
【業務の基準で設定している指標】		
	目標値※提案者記載部分	
	数値が記載してある項目は、業務の基準で設定した数値のため変更しないでください	
	2年目	5年目
定量指標:文化芸術によるアプローチにより、地域の課題について興味を持った・文化芸術活動の可能性に気付いた人の数の測定(アンケート集計及びエピソード評価)	「杉田劇場夏まつり」アンケート回答者の20%以上が該当項目にコメント	「杉田劇場夏まつり」アンケート回答者の22%以上が該当項目にコメント
定性指標①:参加者数名に事業終了後にインタビューを行い、自分自身の考えが変わったかどうか、理解が深まったかどうかをヒアリング(インタビュー調査)	年間5事業程度、2人/1事業のインタビューを実施し、2年間の累計20人の声が蓄積され、企画や運営に生かす。	年間5事業程度、2人/1事業のインタビューを実施し、5年間の累計100人の声が蓄積され、企画や運営に生かす。
定性指標②:地域課題についての専門家にヒアリングし、事業評価をもらう(ピアレビュー)	社会福祉、教育、若者支援・就労支援の専門家3名に、事業評価をいただくとともに、磯子の地域課題について意見交換する場を毎年設け、企画・運営等に生かされている	社会福祉、教育、若者支援・就労支援の専門家3名に、事業評価をいただくとともに、磯子の地域課題について意見交換する場を毎年設け、企画・運営等に生かされている
【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分		
<p>さまざまな地域が抱える課題に対して、文化の持つ包容力や創造性と文化活動に関わることで生きがいや生きる喜びを得ることのできる力を活用して、子育て支援や音楽やアートを通じたコミュニティづくり(少子化への対応)、歌声プロジェクトで学校やこどもをつなぐ・人が流れる街づくり(商店街の活性化)、文化活動参加でアクティブ・シニアの担い手育成(高齢化への対応)、一人親などのこどもたちの放課後支援(こどもの居場所づくり)、多様な文化活動支援(共生社会の実現)など、地域が元気になる取り組みをします。</p> <p>定量指標の場として「杉田劇場夏まつり」を選んだのは、普段、地域課題について意識することのない人々と、生活保護世帯や困難を抱える人々のための学習支援や若者の自立支援、高齢者支援、国際交流等に取り組んでいる団体がともに、磯子区民文化センターに集い、交流する場となると考えたためです。私たちは、こういう場を活用し、地域課題への意識を高めていく取り組みを行いたいと考えています。</p> <p>また病院へのアウトリーチは第4期から新たに始める取り組み、「杉劇ちょこっとカフェこども版」は地域課題へのアプローチとして重要となり、連携団体とのコミュニケーションを深めることは重要と認識し、上記指標を設定しています。なお、年に1度、地域課題に対する取り組みについて、地域の社会福祉関係、教育関係、若者支援・就労支援関係などの専門家3名による評価の場を設けます。</p>		
団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体	

1 1 施設の使命を達成するための取組 使命4

【使命4】

文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、地域の様々な施設・団体・資源（文化施設以外の教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつけることで、地域コミュニティのベースとなる文化的コモنزの形成に貢献する。

【使命4を達成するために具体的な取組】

文化的コモنزを地域の教育力、絆づくり、地域包括ケア等多層的なコミュニティのベースとして位置付け暮らしの中に文化のネットワークを形成します

地域コミュニティは多層的なベースでできていて、その層の一つとして文化的コモنزがあります。文化的コモنزとは、文化の力、すなわち生きる力であり、創造する力であり、バリアを乗り越えていく力が働いてできる強いコモنز(入会地)です。この文化的なコモنزが形成されると、多層的なコミュニティを文化の力でつなぎ、地域の絆をより強固なものにしていきます。

1 学校と杉田劇場をつなぎます

- (1) 区内小学校の学校運営協議会のメンバーとして、地域に開かれた学校運営に協力します。
教員への文化体験や研修実施や子どもたちの授業の中での杉田劇場バックヤード体験ホール利用の優先的な貸し出し、学校体育館での発表会の舞台づくり支援 等
- (2) 横浜市音楽教育研究会と連携して、音楽の教員向けの研修・講座を行います。 [再掲 使命2]
- (3) PTA活動と連携し、情報交換の場を持ちます。
- (4) 杉劇アート体験塾(無料)(インリーチ) [再掲 使命1]
- (5) 横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム(無料)(アウトリーチ) [再掲 使命1]

2 学校と商店街、街をつなぎます。「歌声プロジェクト」

商店街の活性化として、街に子どもたちの歌声を流すことで、地域・街を元気にします。区内の小学校に出向き、子どもたちの歌声を教室や体育館で音響の専門家が録音し、商店街や商店、スーパーマーケット、区役所エレベーターで流します。子どもの歌声が、商店街を利用する人々を元気にすると同時に、学校や子どもたちも地域に貢献していることに喜びを感じます。校長会に呼び掛けて参加校を増やしていきます。第4期には、中学校にも実施する予定です。



歌声プロジェクト(録音風景)

〈28～30年度実績〉 杉田小、梅林小、さわの里小、磯子小、浜小、洋光台第1小、洋光台第2小、洋光台第4小、森東小、根岸小、山王台小（区内小学校16校中11校）

3 地域の文化団体、有識者、行政とのネットワークをつくります「いそご文化円卓会議」

有識者や地域の文化団体、有識者、行政とのネットワークで、磯子の文化資源・歴史などについて、どのように、次世代に残していくのか、つなげていくのか、チーム杉劇が有する地域ネットワークも活用して、地域の課題も含めて話し合います。

4 磯子文化ガイドマップの発行

区内の文化団体・施設・町内会・商店街等の文化情報を集約したガイドブックを毎年発行します。磯子の魅力を区民のみならず、届けるだけでなく、情報収集等制作過程で、地域の団体や関係者とコミュニケーションをとり、連携していきます。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 1 施設の使命を達成するための取組 使命4

5 警察署・消防署と杉田劇場を文化活動でつなぎます

磯子警察署と連携し、警察署の防犯や交通安全の啓発事業として、コンサートのコーディネートや杉劇リコーダーズの演奏、区民と一緒にオレオレ詐欺の芝居作りをして、区民へのPR活動を行います。

また磯子消防署とは、地域に根差した消防出初式にしたいという消防署からの要望があり、毎年、磯子区消防出初式に杉劇リコーダーズが出演しています。第4期もさらに協力を深め、取り組みを進めていきます。



磯子消防出初式(杉劇リコーダーズ)

6 磯子事業会や商店街、町内会、地域施設と文化団体やアーティストをつなぎます

杉田劇場は磯子事業会のメンバーになっています。杉劇リコーダーズや杉劇☆歌劇団はいそごまつりや町内会の祭り、地域施設や企業のイベントなどに毎年、数多く出演しています。第4期は、さらに、イベントの企画の相談や、出演文化団体やアーティストのコーディネートをしていきます。

また杉劇リコーダーズは磯子土木事務所と関係をつくり、ハマロード・サポーターとして、近隣広場の清掃に参加するほか、イベント等での演奏を行っています。第4期も継続していきます。

7 駅前にある公共施設としての地域連携を深めます。

地域の文化施設であるということのほかに、駅前にある公共施設として、行政と連携し、まちの防災や防犯などにも協力・対応をしています。災害時の緊急受け入れ先としての側面や最近では、認知症などの高齢者の対応も行っています。地域ケアプラザと連携し、地域ケア会議に出席し、認知症の高齢な来館者の情報交換なども行い、あらゆる人が安心して安全でいられる場所づくりをしています。さらに、第4期も、なお一層の連携を深めてきます。

〈連携先〉 磯子区地域ケアプラザ→地域ケア会議(カンファレンス)に出席、情報交換
警察署→地域の見守り・こどもの見守りとして防犯連絡所、防犯連絡員として連携
消防署→火災予防協会の一員として
JR、シーサイドライン、京急 →高波などによる帰宅困難者一時滞在施設
今後想定される災害・地震などの災害対策等について、地域と情報共有を進めています。

8 地域で活動する様々な団体と杉田劇場をつなぎます。

「杉田劇場夏まつり」**再掲 使命1および3**は、日頃から杉田劇場の事業で連携している、磯子べんきょう会(生活困窮者・生活保護世帯のための寄り添い型学習支援)、イソカツ(磯子区青少年活動拠点、若者の自立支援)、地域のNPO、行政(高齢障害支援課、生活衛生課など)、JR、消防、警察、地域作業所、保育園、小中学校、町内会、地元企業、地元の商店街が、一堂に介し、出会い、協力し合い、子どもたちやいろいろな団体の方と交流を深めていきます。杉田の祭りや日程を重ねることで、地域のまつりの一体感も創り出します。磯子区内の小中学校が全校にチラシ配布をし、全面協力。文化施設が、子どもと地域と様々な団体を結びつけます。

「杉田劇場冬まつりライブ」**再掲 使命1および3**

区民活動団体と文化活動団体が連携しています。

地域の文化に愛着を持ち、わがまち磯子を誇りに思う人たちと文化活動団体が、区民のための文化施設の周年を祝って、ライブと一緒に作り上げます。

9 大学との連携を深めます

県内の大学が社会教育の場として、磯子の文化の拠点である杉田劇場と連携をしています。現在、フェリス女学院大学、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学の学生をインターンとして受け入れています。また、一般大学でアート・マネジメントを学ぶ学生も杉田劇場の運営や地域連携事業を学び、ゼミの論文や卒論のテーマにして文化施設の意義を学んだ実例もあります。社会に対する文化の力が注目される中、近隣の関東学院大学、横浜市立大学、横浜国立大学、神奈川大学など、横浜市内の大学との連携を深め地域文化施設の役割を学生に伝えていく努力をしています。

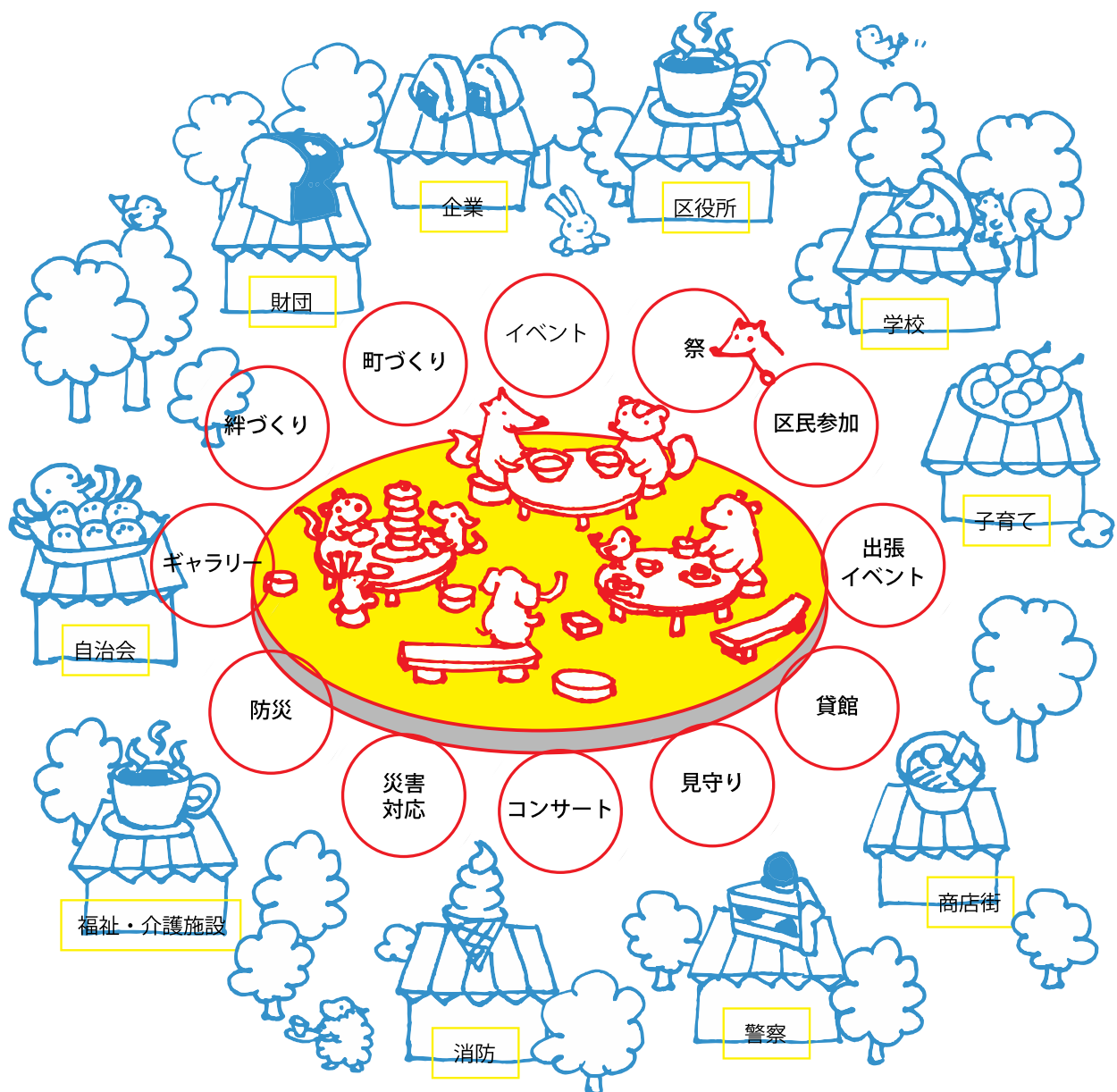
団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 1 施設の使命を達成するための取組 使命4

【令和2年度事業一覧】

No	項目	事業名	内容	時期	目標人数
1	2	歌声プロジェクト	区内の小学校に出向き、こどもたちの歌声を劇場音響スタッフが録音編集、商店街や区役所エレベーターなどで流す	通年	5校
2	3	いそご文化円卓会議	地域の文化団体、有識者、行政が、いそごの文化資源・歴史などを次世代につなぐ、また地域の課題も話し合う	年3回	
3	4	いそご文化ガイドマップ	区内の文化団体・施設・町内会・商店街等の文化情報を集約したガイドブックを毎年発行	年1回	4,000部



団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

11 施設の使命を達成するための取組 使命4		
【提案者が提案する指標】※提案者記載部分		
定量指標① 杉田劇場夏まつり、冬まつり、磯子音楽祭への参加団体数	5年間で100団体出演	
定量指標② 歌声プロジェクト参加の場所の数	5年間で20箇所に歌声を流す	
定性指標 事業実施後の連携団体へのインタビュー(エピソード収集)	使命5で実施する事業の連携団体すべてに、事業終了後インタビューを実施し、今回の連携からさらに広がったエピソード等についてインタビューします。蓄積された声を手掛かりに、ネットワークをさらに広げて行きます。	
【業務の基準で設定している指標】	目標値 ※提案者記載部分 数値が記載してある項目は、業務の基準で設定した数値のため変更しないでください	
	2 年目	5 年目
定量指標①: 当該施設と企画や広報で相互に協力・連携した施設・団体数(例: 文化施設以外の教育施設、福祉施設、医療施設等)	130 団体	150 団体
定量指標②: 事業で連携した地域資源(史跡、食、人材、産業・産品、自然、景観、その他)の数	30	50
定性指標: 地域資源情報の提供(WEBサイト等)	いそご文化ガイドマップの内容充実とWEB 展開	いそご文化ガイドブックの内容充実と WEB 展開(多言語化)
【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分		
<p>文化施設の役割として、文化の持つ力を最大限に生かして、地域のつながりをつくります。社会で生きていく中で一番大切なことは、人と人がつながること。それができるのが文化です。文化が人と人をつなぎ、地域の様々な人々に光を当てることで、地域が少しずつ、着実に変わります。地域は、地域で暮らすすべての人たちのもの。文化的コモンズは、地域の活力の創出に極めて重要な役割を果たすものとして、学校や、商店街、福祉施設、企業や地域にある様々な施設と区民がともに形成することで、理解や共感が広がり、活力を生み出します。</p> <p>私たちは開館以来、文化活動により地域とつながること、つながった相手が、また別の相手とネットワークをつくり、最終的に大きなネットワークとなり、コミュニティを作ることを意識して、事業を行ってきました。時には警察署と連携し、「振り込め詐欺防止」のための芝居を警察官のみなさんと一緒に創作したり、神社や工場、史跡等磯子の地域資源を発掘するまちあるき事業の中で、磯子を題材としたオリジナルミュージカルを作るなどの活動を行ってきました。学校と商店街、公共施設、店舗等をむすび、子どもたちの歌声を録音し、商店街やスーパーマーケット、区役所等で流す「歌声プロジェクト」を実施し、ネットワークを作ってきました。</p> <p>今後も様々な関係者とネットワークを築き、区民が地域に愛着を持ち、いきいきと暮らす絆づくり、文化的コモンズの重要拠点となることを目指します。</p> <p>「杉田劇場夏まつり」「杉田劇場冬まつりライブ」「磯子音楽祭」は、私たちがこれまで築いてきたネットワークにより様々な団体が一堂に会する機会です。「歌声プロジェクト」は、学校と商店街をつなぐことから始まり、様々なネットワークをつくるシンボリックな事業です。また、ただ一方的につながるだけでなく、先方とのコミュニケーションを大切に、常に密接な連携関係が保たれることが必要と考えました。このような理由から上記指標を設定しています。</p>		
団 体 名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／ 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体	

12 施設の使命を達成するための取組 使命5

【使命5】

利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮して、利用者の文化活動がより良い活動となるよう支援を行い、磯子区民に親しまれる施設となる。

【使命5を達成するために具体的な取組】

「今日は何をやっているのかな?」「誰かいるかな?」
声を掛け合うみんなの広場になります



杉田劇場ロビー

子育て中のママたちがバギーを傍らに、ロビーで談笑する。車いすの方が申込みに来てきて、地域の方が寄り添う。高齢の一人暮らしの方が、受付職員とおしゃべりにやってくる。認知症の方がコンサートのチケットを買いに来る。区民の方の無料のギャラリーを毎回楽しみに来る方がいる。外国人の家族が道を聞きに来る。こちらをすかさず、杉田劇場のPRをする。そんな日常が杉田劇場にはあります。

日常にいらっしゃる方すべてが利用者。その日常を大事に、一人ひとりを大切に対応し、輪を広げていきます。

1 利用者の立場に寄り添い、一人ひとりに合わせた対応をします

来館される方々に声かけ、働きかけをして、時間をかけて関係づくりを行います。レセプション研修や接客研修、AED使用を含めた普通救命講習などを受けた職員を受付に配置し、来館するすべてのみなさまが安心して過ごせる環境をつくります。

- (1) 「横浜市市民利用施設予約システム」について、初めての利用者には、登録方法や、操作方法など、丁寧に説明をし、ネット上でのやりとりで不安を感じる利用者に対しては、当館の施設予約のみ、対面で空き状況などを確認しながら、入力のお手伝いをします。
- (2) 視聴覚障がいのある方や外国の方にも対応できるように、職員全体研修で誘導・手話研修、語学研修なども定期的に組み込んで、あらゆる人の対応を可能にしています。
- (3) ギャラリー利用者は高齢の方が多く、設営が利用者だけでは困難な状況が増えています。高齢者支援団体や就労支援団体と連携し、作品の運搬や設営を手伝えるような人材と利用団体をつなぐことを行っています。
- (4) 高齢の利用者が多く、救急車の要請も増えています。声掛けを励行し、来館者の健康状態などにも目を配り、今後は医療機関との連携も深めていきます。
- (5) 夜間、ロビーで勉強している子どもたちに、帰り際に必ず、声掛けをしています。子どもたちの居場所となり得る雰囲気づくりを心がけています。
- (6) はまっこカードを利用しない、都内の音楽出版社やレコーディング会社やCM制作会社からのお問い合わせが増えています。舞台スタッフや窓口業務の柔軟な対応で、新しい利用数を伸ばしています。今後は、レコーディング会社とタイアップするような企画など、事業化につなげることも視野に入れていきます。



杉田劇場 受付

団体名

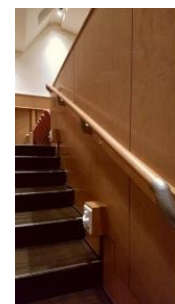
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 2 施設の使命を達成するための取組 使命 5

2 ユニバーサルデザインの 7 原則を踏まえ施設設備機能の充実を図ります

高齢の方、子連れの方、外国の方がふらっと立ち寄るロビーやトイレなどは、公共施設としての機能を強化し、ユニバーサルデザインを取り入れています。

- (1) 誰でも公平に利用できること(公平性)⇒自動ドア
- (2) 使う上で柔軟性に富むこと(柔軟性、自由度)⇒
 - ① 使いやすい方を選んで 4 階から 5 階ホールに移動します。
エスカレーターと手すり付き階段があり、使いやすい方を使います。
エレベーターは、車いすの方や障がい・疾病のある方等が使います。
 - ② 5階ホール階段に手すりと足元灯をつけました。
- (3) 使い方が簡単ですぐ分かること(単純性)⇒多目的トイレ内の使い方表示を分かりやすくしました。
- (4) 必要な情報が簡単に理解できること(分かりやすさ)⇒マークを使った表示で、誰でも分かるようにしました。
- (5) 単純なミスが危険につながらないこと(安全性)⇒利用者用に危険防止機能付き電気ポットや電子レンジを用意しています。
- (6) 無理な姿勢を取ることなく、少ない力でも楽に使用できること(体への負担の少なさ)⇒多目的トイレの手すり付き便座は車いす利用者が移動しやすい高さになっています。
トイレ洗面台の自動水栓などは手をかざすだけで利用ができます。
- (7) 利用しやすい空間と、十分なサイズを確保すること(スペースの確保)⇒オストメイトやおむつ替えシートがある多目的トイレが 3 つあり、車いすやバギーもそのまま入れます。



ベビーホルダー表示／手すり付き階段

3 利用団体を応援することで杉田劇場のファンを増やし、好循環を作ります

施設運営の向上には、ふらっと来る人が増えて、杉田劇場のファンをつくるのが大切です。貸館として利用する団体が杉田劇場を使ってよかった、また、使いたい、知り合いにも紹介したいといってくれることで、稼働率の向上や利用料金の収入増につながります。利用団体を積極的に応援し、好循環を作ります。

- (1) 利用者サービスの拡大
 - ・ チケット預かり販売を行います。
 - ・ 第 4 期より、コンビニでも買えるチケットオンラインシステムを導入。貸館の利用者もご利用いただけます。(新規)
 - ・ 会議室、ギャラリー利用団体には、茶器・ポットを無料で貸し出します。
 - ・ リハーサル室、練習室利用団体には、除湿器、加湿器、扇風機、暖房機器などを無料で貸し出します。
 - ・ ピアノ調律手配、生花手配、ケーティング手配をします。(新規)
- (2) 広報協力・広報支援
 - ・ 主催者に働きかけ、貸館事業も積極的に PR し、新聞、マスコミ、ミニコミ誌等に取り上げてもらう機会を作ります。
 - ・ 杉田劇場に関わっている事業や、区民の文化活動などを丸ごと、発信していきます。
 - ・ 紙媒体だけではなく SNS 等を活用し、ウェブアクセシビリティにも心がけて発信します。
- (3) 専門スタッフのサポート

施設の利用が初めての方からプロの団体まで、イベント実施については、施設オープン以来舞台業務を担当しているスタッフがサポートします。
- (4) 利用団体向けのオープンフェスティバルを年 1 回、ホールで行います。(新規)
 - ・ 利用団体相互の交流を深め、地域ともつなげます。利用団体に舞台づくり・仕掛けづくりを体験してもらい、杉田劇場のファンを作ります。
- (5) 利用料金を増やすために、平日利用の特別料金を設定します。(様式 24 で記述)
- (6) 公共の場として誰でもが自由に立ち寄り、居場所となり、暮らしの中の文化の場、日常の中にある場となります。

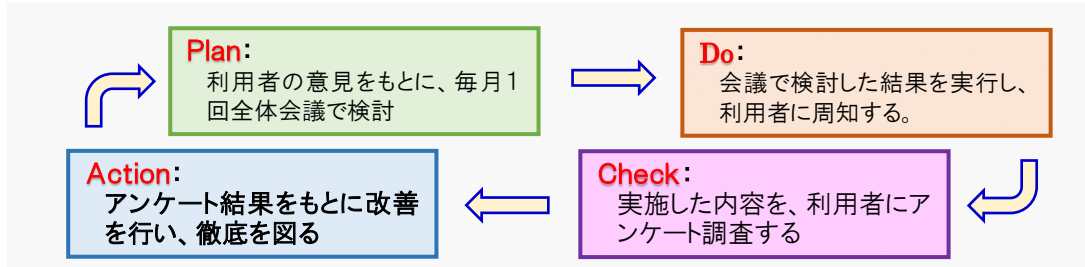
団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 2 施設の使命を達成するための取組 使命 5

4 利用者等の声を反映して、マネジメントを育みます

利用者のニーズ・要望は、運営改善のチャンスであり、利用者との良好な関係を築くための貴重な機会です。アンケート、ヒアリング等を通じて、様々な意見や要望を集め、対応を考えていきます。対応一過性のものとせず、原因や背景を見極め、内部で対応策を検討し、業務の改善に確実につなげ、また定着化を図るため、PDCAマネジメントを活用します。



(1) 各種アンケートの実施

施設利用者の要望や苦情、満足度を把握するために様々なアンケートを実施します。

貸館利用者アンケート	貸館利用者に対しアンケートを実施。対象はホール、ギャラリー、リハーサル室、練習室の部屋別に行います	通年
来場者アンケート	アンケートをロビー、玄関等に設置し来場されるお客様を対象とした満足度を調査するアンケートを行います	通年
事業参加者アンケート	主催事業(ワークショップ等)に参加された方々に対し、実施事業の満足度や要望についてのアンケートを行います	通年
ホームページ問合せフォーム	施設に対する意見、要望、苦情についてホームページの問合せフォームで24時間受け付けます	通年

(2) 関係者へのヒアリング

施設で組織する杉劇@助っ人隊等、関係団体等との意見交換を行い施設運営に活かします

杉劇@助っ人隊	施設運営全般について、意見交換を行います	随時
らびすた新杉田店長会	施設の運営状況や管理組合に関わる問題の意見交換を行います	随時
利用者懇談会	施設を定期利用する方々と、運営に対する意見交換を行います	年2回

(3) 区役所や共同事業体へのフィードバック

職員(受付、舞台を含む)	アンケートを基に、管理・運営改善を行います	随時
区役所	施設の運営状況・事業等についてモニタリングを行います	月1回
4者共同事業体	施設の運営状況や管理設備などの意見交換を行います	年2回
いそご文化円卓会議	アンケートを基に管理・運営に対する意見交換を行い、次年度以降の運営改善につなげます	年2回

5 施設利用に関わる個人情報の保護

施設の運営にあたっては、コンプライアンスを強く意識した管理運営を行います。

- ① 個人情報の取り扱いを記載した「個人情報取扱マニュアル」を作成
- ② 個人情報管理責任者を選任し、個人情報保護に関する研修を実施する。
- ③ FAX・メールの誤送信防止のためダブルチェックの実施
- ④ 個人情報に関わる書類の施錠保管および廃棄でのシュレッダー又は溶解の実施
- ⑤ 個人情報が含まれるデータファイルのセキュリティーの徹底

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

12 施設の使命を達成するための取組 使命5		
【提案者が提案する指標】※提案者記載部分		
定量指標① 利用者アンケート回収率(*2年目、5年目ともに下記数値以上を目指します) ホール 60% ギャラリー60% リハーサル室 50% 練習室 30%		
定量指標② 利用団体が横とつながりを持つために、利用団体向けオープンフェスティバルを年に1回行います。		
【業務の基準で設定している指標】		目標値 ※提案者記載部分 数値が記載してある項目は、業務の基準で設定した数値のため変更しないでください
	2年目	5年目
定量指標①:貸館利用率	80%	80%
定量指標②:利用者及び来場者満足度の測定(アンケート集計)	80%	80%
定性指標①:専門職員の配置数、配置年数の考え方(人事異動の考え方)、人材育成の考え方(運営スタッフ・舞台スタッフ・地区担当の能力開発等)。	■専門職員配置数 事業 5 施設管理・運営 2 舞台技術 3 ■配置年数 原則5年間。地域理解に支障がないような継続性を留意した人材を配置。地域密着長期勤続を前提(NPO) ■人材育成 館長・副館長を中心にチーム及び各担当を指導・育成する体制	■専門職員配置数 事業 5 施設管理・運営 2 舞台技術 3 ■配置年数 原則5年間。地域理解に支障がないような継続性を留意した人材を配置。地域密着長期勤続を前提(NPO) ■人材育成 館長・副館長を中心にチーム及び各担当を指導・育成する体制
定性指標②:専門職員の育成方法	OJTを基本として内部研修を実施する他、必要に応じて外部研修に参加する	OJTを基本として内部研修を実施する他、必要に応じて外部研修に参加する
定性指標③:当該施設に関する利用者のグループインタビュー	利用者懇談会を毎年実施する。懇談会を通じた声を蓄積し、運営に生かす	利用者懇談会を毎年実施する。懇談会を通じた声を蓄積し、運営に生かす
【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分		
<p>区民文化センターは多くの皆様にご利用いただくことが最も重要です。多目的な用途に使えるホールの特性を活かし、様々な利用の促進を図るとともに幅広い世代の多くの区民が集う「文化活動の拠点施設」として、常に安全で快適な環境を維持し全ての人々が円滑に利用できるよう、小さなことにも対応できる力を備えた職員を育成しています。また施設運営では維持管理のみにとどまらず、ユニバーサルデザインの7つの原則を踏まえて、すべてのお客様に対して、公平でより良いサービスの提供に努めます。ホスピタリティ溢れるサービス充実により、「来てよかった」「また利用したい」と感じていただける施設となります。</p> <p>また私たちの主な収入は、指定管理料を除くと、利用料金収入、自主事業収入、雑収入となりますが、このなかでも施設の経営に大きく影響するのは、利用料金収入です。そのため、施設の稼働率向上は、重要な課題と考えます。また、稼働率を向上させるためには、要望・苦情への迅速な対応、利用者の声に真摯に耳を傾けることも重要な取組みです。</p> <p>これらをふまえ、私たちは、利用者のニーズを運営に生かし、満足度の高い利用を実現するため、施設利用者を対象としたアンケートを新たにはじめます。そのため指標は利用者アンケートの回収率を一定以上維持することを掲げています。</p>		
団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／ 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体	

1 3 施設の使命を達成するための取組 使命 6

【使命 6】

適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。日常的に不具合箇所を確認し、小破修繕で対応できる予防的修繕にも着実に取り組む。複合施設に設置されている施設として、施設全体の維持管理において適切な役割を担う。

【使命6を達成するために具体的な取組】※提案者記載部分

様々な人が訪れ 集い 憩う場所として
安全・安心・快適な場であり続ける

施設管理

「共同事業体に施設管理のプロがいる」

私たち共同事業体には、地元の設備管理の専門家である㈱ニックスサービスが参加しており、施設の維持管理計画を作成し、それに基づいた日常の管理・定期点検等を実施します。また清掃業務も一括しており、利用者・来館者に安全で快適に施設を利用していただけるよう日々務めています。

1 施設の安全確保と長寿命化の視点による修繕の実施

「横浜市公共建築物マネジメントの考え方」に基づきプリメンテナンス(予防保全)を心がけ、状態監視保全を活用した保守・点検データベースを構築し、施設の長寿命化につながる維持管理を行います。

当施設は、来年度には開館 15 周年を迎え、今後、老朽化も進んでいくと思われ、大規模修繕が必要となる築年数となりますが、これまで日頃の施設管理における効果により大きな不具合は出ていません。この状態を長く継続するために、プリメンテナンス(予防保全)の考え方に基づき、重要度や緊急度に配慮し「定期的・計画的な補修」を実施し、安全性を最大限考慮しながら、ライフサイクルコストの最小化を目指します。

2 利用者に安心快適な日常における保守管理

- (1) 横浜市のルール等法令を遵守し、あらゆる保守における点検等について法定通り実施します。
- (2) 快適な利用を心がけ、保守管理・清掃において、美観維持や腐食防止を意識し対応します。
- (3) 点検時に不具合箇所が発見された場合には、不具合状況をデータ化し今後に活かします。
- (4) 機器の安全性を考慮した結果、機器の更新が必要な場合には、速やかに磯子区と協議します。
- (5) 光熱水費は、適切な運用において削減に努めます。
- (6) 備品については、物品管理簿により管理し、原則、指定管理料で購入した備品は横浜市に寄贈します。
- (7) 使用頻度が高いピアノは温湿度管理等適切に行い、専門業者へ定期的なメンテナンスを依頼します。
- (8) 日常及び定期清掃を組み合わせ清潔な状態を維持します。
- (9) 横浜市の政策でもあるごみの排出量削減を推進します。

3 保守管理業務における委託業者について

横浜市が定める「横浜市中企業振興基本条例」の主旨を鑑み、市内に事務所または事業所を有する中小企業への業務発注に努めます。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

12 施設の使命を達成するための取組 使命6

4 中期修繕計画の策定

修繕に関しては、「事後保全」と「予防保全」を上手く組み合わせた効率的な対応を行っていきます。予防保全については施設全体を調査し必要な修繕項目を洗い出したうえで「建物関連設備」「舞台関連設備」に分類し、専門的な見地から修繕実施時期を予測するなど体系化し、独自の「中期修繕計画(5年間)」を作成して区と共有し、早期の段階で対応を協議します。また効率的な修繕対応を行っていくため、収支予算書における修繕費については、十分な予算を確保し、適切な小破修繕に取り組むことで、設備・備品等の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減に努めます。

【5年間の修繕予算】 ※小破修繕を対象として予算計上

	平成30年度実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
修繕費(予算)	1,736千円	1,800千円	2,000千円	2,196千円	2,150千円	2,200千円

5 その他管理に関わる工夫

- (1) クールビズ、ウォームビズを推進します。
- (2) 使用していないパソコンなどOA機器の電源管理を徹底します。
- (3) 廃棄物の分別による再利用への取組みを推進します。
- (4) 連絡手段のメール化、保管書類のデータ化を進める事による、大幅なペーパーレス化を促進します。

事故・防犯、防災

「利用者の安全確保が何事にも優先する」

私たちは、「利用者の安全確保が何事にも優先する」という意識をもって「安全・安心を最優先」に組織体制と計画を策定し、事故の未然防止にあたります。そして、誰もが安心・安全に施設利用ができるような管理・運営を行います。

1 事故・防犯に対する取組み

- (1) こども、高齢者、障がい者、外国人を含むあらゆる人の利用を想定し、それぞれに対するリスクチェックを行ったうえで施設のハード面、ソフト面の課題を把握し、対策と対応を「事故防止マニュアル」として整備します。
- (2) 事故やヒヤリハット事例は、記録簿に残しミーティングで共有し、事故防止力の向上を図ります。
- (3) ホール利用者には、打合せ時に「避難誘導についての手引き」を配布し、緊急時の対応を説明します。
- (4) 職員は始業前点検として開館前に諸部屋を巡回し、設備の損傷確認と不審物等の確認を行います。
- (5) 舞台に関わる事故を防止するため、舞台スタッフによる設備点検を徹底するほか、利用者に対して利用時の注意喚起を行います。また舞台機構操作ならびに照明機材の吊込み等、危険を伴う作業については必ず舞台スタッフが行います。
- (6) 全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の応急処置とAEDの取り扱いを習得します。(AED1台を常備)
- (7) 複合施設であり不特定多数の方が利用し、不審者の侵入も懸念されるため、職員による定期的な館内巡回を実施するほか、監視カメラによる録画と、モニターによる館内状況の監視を行い防犯に努めます。
- (8) 複合施設内の商業施設の防災センターとは常に連絡が取れる体制をつくり、事故を未然に防止します。
- (9) 緊急事態が発生した場合は、緊急連絡網により区役者を含む関係各所へ連絡し必要な対応にあたります。
- (10) 認知症状の見られる高齢者や様々な事情を抱える方が長時間滞在することもあるため、関係各所と連携・協力し必要な対応にあたります。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

13 施設の使命を達成するための取組 使命6

2 防災に対する取組み

(1) 基本的な考え方と取組み

災害発生時の被害を最小限に抑えるために、平常時から危機管理への備えを怠らないことが重要であり、緊急時における利用者の安全管理については、施設の職員が如何に迅速な対応をとれるかが課題であると考えます。そのため、横浜市が作成する「指定管理者災害対応の手引き」を踏まえ、施設の特性に配慮した「災害時対応マニュアル」を整備し、それに基づいた研修と訓練を反復することで、万全な体制を整えます。職員の中には、横浜市消防局のOBがおり、常に防災についてOJT研修を行います。

また、災害が発生した場合は、当施設は「帰宅困難者一時滞在施設」と位置づけられているため、その機能を適切に発揮できるよう、職員の参集、開錠ルール、受入れ等の研修及び訓練を実施します。

(2) 防災に対する各種研修・訓練の実施

消防法に基づき防火管理者を選任したうえで「消防計画書」を作成し、所轄の消防署へ提出します。防災に対する研修・訓練を全職員に対し定期的実施するほか、館長以下全ての職員が「普通救命講習」を受講しAED操作等救命技能を取得します。また、自衛消防組織を確立し、緊急時に職員全員が組織立った行動をおこし被害を最小限に防ぐよう努めます。大規模災害を想定した防火・防災訓練の実施にあたっては、管理組合と連携を図り実施します。訓練の内容については、所轄の消防署と相談し施設の特性に合わせて計画することで非常時に訓練の成果を活かせる内容とします。

研修・訓練名	内 容	実施回数
救命救急研修	救急救命の初期対応、AEDの使用方法の習得	年1回
災害時対応研修	交通遮断時等の対応確認/ 帰宅困難者一時受入れ時の行動確認	年1回
防火・防災訓練	自衛消防隊の組織確認/ 消火訓練/ 消防設備等の位置確認/ 消防計画及び災害時行動計画の確認	年2回
避難訓練	開館中の災害発生を想定した訓練を管理組合との連携により実施	年1回

(3) 連絡体制

事故や災害が発生した場合は、状況を把握し、必要に応じて警察及び消防署への連絡にて現場対応をした後に速やかに磯子区役所及び、らびすた新杉田管理組合へ報告し、対応を図ります。

3 感染症対策等衛生管理

(1) 基本的な考え方

本施設は複合施設の中にあり、不特定多数の人が出入りする環境にあり、インフルエンザやノロウイルスといった感染症予防のため、法令に基づく環境衛生管理基準に則り、施設の衛生管理を徹底します。

(2) 衛生管理の具体的取組

- ① 施設入り口とトイレに手指消毒剤を設置します。
- ② 職員の感染症対策として、全職員がインフルエンザの予防接種を年1回受けるよう指導します。
- ③ 自動ドアや階段の手すりなどについて次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行います。
- ④ 吐しゃ物の処理にはマスクと手袋を着用。使用済のマスクと手袋は適正に処理し嘔吐した場所については次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行います。

団 体 名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

13 施設の使命を達成するための取組 使命6	
団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／ 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体
【提案者が提案する指標】※提案者記載部分 定量指標① 中期修繕計画の策定 定量指標② 施設・設備等使い勝手及び快適性の満足度(アンケート) 令和3年 80% 令和6年 80% 定性指標① 特殊詐欺防止のための警察との連携イベント開催	
【業務の基準で設定している指標】	目標値 ※提案者記載部分 数値が記載してある項目は、業務の基準で設定した数値のため変更しないでください
定量指標①:12条点検、消防法立入検査及び建築局劣化調査による指摘への対応率	100%
定量指標②:施設管理者点検及び日常点検での不具合内容への対応率	100%
定量指標③:施設の管理瑕疵に起因する事故ゼロ。	0
定量指標④:区と実施するモニタリングにおける複合施設修繕案件や計画の情報共有率	100%
定性指標①:各種法令を守り、業務の基準に定められた点検、報告等を定められた期限までに実施するとともに、長寿命化につながるような予防的修繕をこまめに実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守点検データベース構築 ・ 中期修繕計画策定
定性指標②:日常的に管理組合と情報共有を行い、他の区分所有者との関係性を構築し、安定的な施設運営ができています。	共用部分の修繕が迅速かつ円滑に実施されている。
【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分 施設の長寿命化につながる維持管理は、指定管理者にとって最重要課題と考えており、そのためには、修繕計画を基にした日常・定期点検を行って、施設異常の早期発見・早期修繕を実施することにより、予防保全の徹底が図れます。 また普段から利用者に施設を快適に利用していただくためには、美観の維持や腐食の防止を意識しながら日常及び定期清掃にて常に清潔に保つことが重要であると考えます。感染症予防に関しても日常清掃は重要であり、複合施設の中にある本施設は、不特定多数が入り出すため、施設の衛生管理を徹底して行います。 私たちは、地域の皆さまに愛され、そして利用者が快適に、かつ安全、安心してご利用いただける施設運営を目指しています。そのため「利用者の安全確保が何事にも優先する」という徹底した意識をもって「安全・安心を最優先」にした取組みを行い、事故や事件の未然防止が必要であると考えます。 このような考えから、老朽化に対応した施設修繕の計画的な実施、利用者の満足度の確保、事故や事件の未然防止のために私たちが成すべきことを考え、指標として設定いたしました。	
団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／ 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

14 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え

- ・ 料金設定（附帯設備については、様式25（5年間の収支及び収支バランス）の「利用料金収入」欄に附帯設備も含めた収入を記載してください。[上限額は、1式又は1台、1日につき8,000円]）。

【利用料金の設定】

※網掛け部分は変更できません。

(単位：円)

区 分 種 別		午前 9:00-12:00		午後 13:00-17:00		夜間 18:00-22:00		一日		上限額（1日につき）			
		平日	土日、 休日	平日	土日、休日	平日	土日、休日	平日	土日、 休日	平日	日曜、土曜及休日		
ホール	入場料等を 徴収しない 場合	10,000	13,500	16,500	18,500	14,000	15,000	40,500	47,000	40,500	47,000		
	入場料等を 徴収する場合	13,500	21,000	25,500	33,000	28,500	25,500	67,500	79,500	67,500	79,500		
楽屋A		1,000		1,300		1,000		3,300		3,300			
楽屋B		700		800		700		2,200					
楽屋C		600		700		600		1,900					
楽屋D		600		700		600		1,900					
ギャラリー	入場料等を 徴収しない 場合							3,100	3,100	3,100			
	入場料等を 徴収する場合							4,800	4,800	4,800			
		9:15-12:15		12:45-14:45		15:00-17:00		17:30-19:30		19:45-21:45		一日	
		平日	土日、 休日	平日	土日、 休日	平日	土日、 休日	平日	土日、 休日	平日	土日、 休日	平日	日曜、土曜及休日
リハーサル室		2,700	3,500	2,900	3,600	2,900	3,600	2,600	3,000	2,400	2,300	13,500	16,000
会議室A		400	450	450	500	450	500	450	450	250	300	2,000	2,200
会議室B		400	500	550	550	550	550	500	550	300	350	2,300	2,500
会議室C		400	450	450	500	450	500	350	350	250	300	1,900	2,100
練習室A		250	350	400	450	400	450	500	500	550	550	2,100	2,300
練習室B		300	400	500	550	500	550	600	600	600	600	2,500	2,700
練習室C		450	550	600	650	650	700	750	800	750	800	3,200	3,500

団 体 名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 4 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の考え

1 利用料金について

- (1) 現在の利用区分、料金が定着し、利用者にも認知していただいているため、基本的に現行の料金設定を維持します。
- (2) 横浜市全体で、公共施設利用料金の上限額見直しが行われる際には、施設利用料、附帯設備利用料を見直します。また、設備や備品の更新、大規模改修等により、施設が保有する附帯設備や備品が見直された際には、料金改定や新規設定を申請します。

2 利用料金の減免・割引等の運用方法について

利用率の向上と新規利用者の開拓、及び次世代育成を目的とし既存の割引制度に加え、新たな減免制度・割引制度、優遇措置(特別料金設定)を実施します。

3 減免制度の実施について

施設利用料の減免については、横浜市区民文化センター条例第 15 条、ならびに同施行規則第 12 条に基づき適切に対応します。また、次世代育成につながる利用についての減免制度を新たに設けます。

(1) 指定管理者が主催または共催する事業

主催事業については全額減免、共催事業については条件等により
10%~50%の減免を適用

(2) 磯子区内の学校等の利用(新規)

磯子区内の小・中・高校の利用の場合、ギャラリー・ホール・リハーサル室の利用料金について
20%の減免を適用

(3) 磯子区内の幼稚園・保育園等の利用(新規)

磯子区内の幼稚園、保育園等の利用の場合、ギャラリー・ホール・リハーサル室の利用料金について
20%の減免を適用

4 利用率向上を目的とした割引制度・特別料金設定等について

(1) 直前申請割引(新規)

利用 1 か月前を切って予約が入っていないホールの空きコマ利用について、利用料金の 20%を割引

(2) 平日利用限定の特別料金(新規)

〈ホール〉

① ホールピアノ割引 音大生・コンクール応募者など若手支援

利用 1 か月前を切って予約が入っていない平日のホール限定
2 時間単位(4000 円音響反射板あり、ピアノ込・調律なし)で貸し出します。(1 日6団体まで)

② 平日 1 コマ割引 一般利用・駆け込み利用者への支援

利用 1 か月前を切って予約が入っていない平日のホール限定
1 コマ単位(5000 円反射板なし)で貸し出します。(1 日 3 団体まで)

③ 部活動割引 地元の学校の吹奏楽部や演劇部の練習場所として提供

1 コマのみ無料(音響反射板なし、作業灯のみ)

団 体 名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 4 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の考え

〈リハーサル室〉

- ・ 平日夜間限定の優先予約、3 か月定期利用(曜日指定)をします。(新規)
(利用料金は通常通りに徴収します)

〈会議室〉

- ・ 磯子事業会、磯子区商店街連合会などに加入の企業や店舗にPRし、各団体と調整し、利用手続きの簡略化をして使いやすくします。

(3) スタンプ会員サービス(新規)

リハーサル室、会議室を対象にスタンプカードを発行、1 回の利用につきスタンプを 1 つ押印し、スタンプカード1枚満了で1 区分を無料で貸出し。

【新たな利用料金の減免制度・割引制度(特別料金)・サービス一覧】

直前申請割引(減免)	利用 1 か月前で予約が入っていないホール利用について利用料金の 20% を割引。
区内幼児割引(減免)	磯子区内の幼稚園、保育園等が利用する場合、ギャラリー・ホール・リハーサル室の利用料金について 20%を割引。
区内学校割引(減免)	磯子区内の小・中・高校、大学が利用する場合、ギャラリー・ホール・リハーサル室の利用料金について 20%を割引。
ホールピアノ割引(特別料金)	2 時間単位(3000 円音響反射板あり、ピアノ込・調律なし)で貸し出し
平日 1 コマ割引(特別料金)	ホール利用 1 コマ単位(5000 円反射板なし)で貸し出し
部活動割引(特別料金)	ホール利用 1 コマのみ無料
夜間リハーサル室定期(サービス)	平日夜間リハーサル室定期(曜日指定)、3 か月優先予約
スタンプ会員サービス	リハーサル室、会議室を対象にスタンプカードを発行、1 回の利用につきスタンプを 1 つ押印。スタンプカード 1 枚満了で 1 区分を無料貸出し

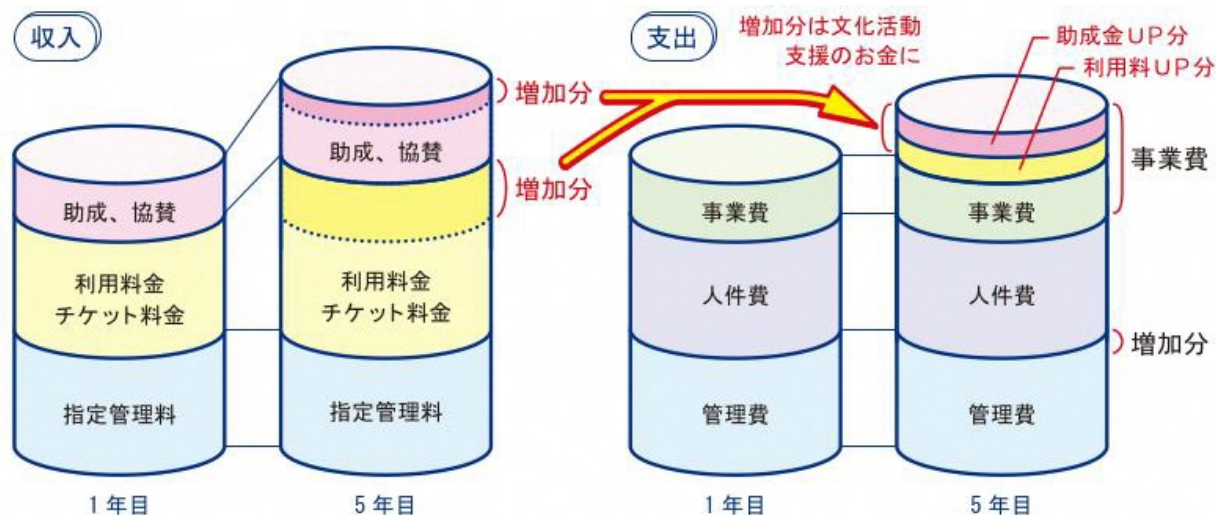
団 体 名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 5 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

区民の文化活動を支援するために収入を増やします

指定管理料のみに依存しない収入構造の努力をして、収入を確保し、区民の文化活動、区民参加の事業に充当します。



1 収入を増やす具体的な取り組み

(1) 利用料金を増やすために平日利用を増やします。

土日利用に比べて、平日利用が少ないという課題に対して、以下を取り組みます。

- ・ 月初めにホームページで空き状況を告知します。

《ホール平日利用の取り組み》 特別料金を設定

- ・ コンサートピアノでリハーサルをしたい層にPRします。(若い層への支援)《ホールピアノ割引》
音楽大学の学生、コンクール応募者など、本番に近い状態で練習をしたい利用者に対して、1 か月を切った空き日の平日限定で、2 時間単位(3,000 円音響反射板あり、ピアノ込・調律なし)で貸し出します。(1 日6団体まで)
- ・ ホールでリハーサルなどをしたい層にPRします。(駆け込み利用層などへの支援)《平日 1 コマ割引》
急に利用を決めた団体に対して、1 か月を切った空き日の平日限定で、1 コマ単位(5,000 円反射板なし)で貸し出します。(1 日 3 団体まで)
- ・ 地元の学校の吹奏楽部や演劇部の練習場所として提供します。(学校への支援)《部活動割引》
1 か月を切った空き日の平日限定で提供します。(音響反射板なし、作業灯のみ)

《リハーサル室平日利用の取り組み》

- ・ レッスンバー(無料)があるリハーサル室をダンスやスポーツを楽しむ層にPRします。
- ・ リハリウムを配備して、バレエやダンスの練習利用をより使いやすくします。
- ・ 平日夜間限定の優先予約、3 か月定期利用(曜日指定)をします。《平日夜間限定リハーサル室定期》
(利用料金は普通に徴収します)

《会議室平日利用の取り組み》

- ・ 磯子事業会、磯子区商店街連合会などに加入の企業や店舗にPRし、各団体と調整し、利用手続きの簡略化をして使いやすくします。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 5 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

(2) チケット収入を増やします。

- ・ チケット販売にコンビニでも買えるオンラインシステムを導入します。

《貸館対応で》

- ・ 貸館利用者のチケットの取り扱いについては、利用者サービスの一環として、杉田劇場でもPRをして、預かりチケットとして販売し、杉田劇場で売れた枚数にのみ手数料をいただいていた。第 4 期から、新たに導入したオンラインチケットシステムを、貸館の利用者にも、対応できるようにして、チケット販売手数料等の収入増加を図ります。
- ・ オンラインシステムの利用を希望しない貸館利用者のチケット販売も従来通り、預かりチケットとして販売し、チケット販売手数料を得ます。

《協力・共催公演で》

- ・ 協力・共催公演では、オンラインシステムのメリット(①窓口以外でもチケットの購入ができる、②いつでもネット上でチケットを選び、予約ができる)を主催者に説明して、オンラインシステムを導入し、チケット販売手数料等の収入増加を図ります。

《主催公演で》

- ・ オンラインシステムを導入し、チケットを販売します。

(3) 助成金・協賛金・広告収入を増やします。

《助成金》

- ・ 一般財団法人地域創造の助成金は、横浜市で採択されるのは 1 件になっていますが、杉田劇場は開館以来、毎年続けて獲得しています。

杉劇アート de 伝承プロジェクトは、2018 年からの 3 年間の継続事業としての採択で、第 4 期の 2020 年度までの採択になっています。2021 年度は、また、助成金の 3 年継続事業の申請をしていきます。

- ・ 第 4 期からは、新たに事業規模の小さいものに適する助成金を申請していきます。



「杉劇アート de 伝承プロジェクト」の成果

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 5 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

《協賛金・広告収入》

- ・ 磯子音楽祭、杉劇リコーダーズ定期演奏会に、毎年、磯子事業会や近隣商店街から協賛金を集めています。
- ・ 杉田劇場夏まつり・冬まつりは、物品協賛を近隣商業施設や企業から集めています。
- ・ 第 4 期からは、イベントカレンダーやチラシに広告枠を用意し、年度の初めに依頼をかけて、広告を出してくれる先の要望に合わせて、該当事業を選択し、広告収入を増やします。
- ・ 広告収入を増やすために、全職員で社会貢献型地域企業・商店などをリサーチします。

(4) 雑収入を増やします。

《自動販売機の新たな活用》

- ・ 杉田劇場では、飲料の自動販売機が 4 階に 3 台、5 階に 2 台設置されています。
第 4 期は楽屋利用のお客様の利便性を考え、飲料以外(パン、菓子類、カップ麺等)の自動販売機の導入を視野に入れ、収入増につなげます。

《グッズ販売》

- ・ 杉田劇場の子育て支援事業で、オリジナルコンサートの「ひよこ♪コンサート」のキャラクター、ひよこのひーちゃんグッズをつくり、販売します。

《コピー機》

- ・ 現在は、利用者(団体)につき、1 枚当たり 10 円で 10 枚までを事務所内のコピー機を使って、職員が行っていますが、第 4 期からは、利用者がセルフで使うコピー機を導入し、手数料収入を得ます。



ひーちゃんグッズ(案)

(5) 自主事業収入を増やします。

話題になる公演や一度は聞いてみたいような質の高い公演を共催公演として誘致し、有料コンサート・芝居等の回数を増やし、チケット収入を増やします。

(6) 磯子事業会加盟企業や横浜磯子ロータリークラブなどからイベント企画制作や出演依頼など委託事業の依頼がある場合は、積極的に受託していきます。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

1 5 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

2 支出を減らす具体的な取り組み

(1) 業務の効率化

- ・ シフト勤務でも確実な情報共有を徹底します。書類のみに頼らず Face to Face で、短時間で確実な申し送りを行います。
- ・ 職員が笑顔で楽しく仕事をする環境を作り、すぐに困ったことを話し合える、風通しの良い職場づくりを行います。
- ・ 特定の職員に業務が集中しないように、絶えず配分を見直し、全職員で補いあうことで、職場全体のワーク・ライフ・バランスを保ちます。

(2) 人材の効率的活用

- ・ 第 4 期からは、4 者共同事業体の連携を強化し、舞台スタッフもホールの夜公演がない日は、シフトに組み込みます。
- ・ 杉劇@助っ人隊や杉劇リコーダーズ、いそご文化資源発掘隊のメンバーなど、地域の文化活動に興味関心を持つ人材や磯子区内のアーティストを区民協働の視点から、積極的に活用します。

(3) 年間の事業収支バランス

- ・ 年間事業収支のバランスチェックを個々の事業終了後から月ごとに変更し、早めに見直すことで、収支バランスを保ちます。

(4) エコ活動の推進

- ・ 消耗品のリサイクルをしています。
- ・ こどもエコ活。
磯子区のこどもエコフェスタに杉劇リコーダーズが出演し、エコ活動の推進をしています。
- ・ グリーンカーテンを実施しています。



エコ活動の推進(グリーンカーテン)

3 文化活動支援への新たな取り組み

磯子区の湾岸地域には大手企業の工場が多く、磯子事業会会員としても名を連ねています。この 5 年間、地元の銀行関係者や大手企業の担当者、地元の事業会会員企業などにヒアリングを重ねたところ、地域貢献への関心は高く、磯子区民と関わりを持ち、社会貢献を考えている企業は少なくありません。

また文化への理解、意義、文化が地域社会の課題解決につながることについて、私たちは企業の方々に説明を行い、関係性を築いてきました。

第 4 期は、これらの関係性を基に、文化の力で地域の課題を解決するためにこれら企業や区民から、協力・支援を募る基金(いそご文化スマイル基金)の立ち上げの検討を行い、具体的な方法や課題を検証します。

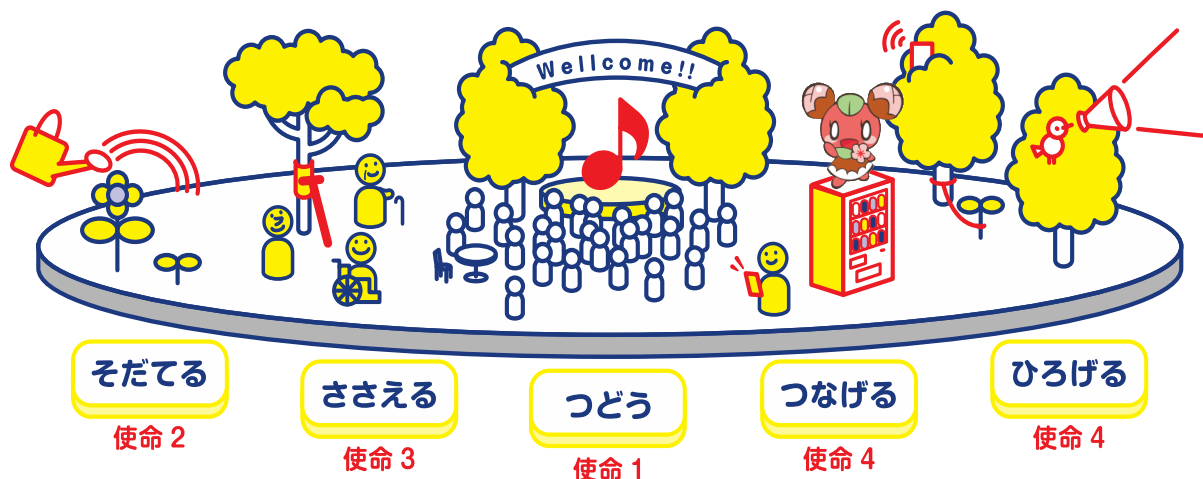
団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

17 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

時代の流れに即した新しい取り組みにもチャレンジし 区民や地域社会の要請に応えます

区民のための文化の拠点、区民の居場所であり、区民が親しみを持って参加できる小さな取り組みから、急速に発展しているインターネット環境にかかわる取り組みまで区民の力や地域の力を活かして運営に反映していきます。



1 みんなが集う場所づくり(使命1/つどう)

(1) 2020 年に向けて、パブリックビューイングの実施

第3期には、2016年にリオ・オリンピックの競歩の選手が出身ということで、地域が盛り上がり、区役所、警察署、商業施設管理組合の協力のもと、深夜に劇場をあけて、300人の区民と一緒に観戦をしました。2020年のオリンピック・パラリンピックなどにむけて、パブリックビューイングを準備していきます。



パブリックビューイング(杉田劇場ホール)

(2) みんなが憩えるスペースづくり

- ・ロビーに季節を取り入れた飾り付けをしています。区民の力をいただき、にぎわいをつくっています。
- ・杉劇@助っ人隊やイソカツのこどもたちが職員と一緒に小物作り、舞台スタッフが仕上げをして、ロビーの飾り付けを楽しみます。
- ・お正月飾りは地元商店街の協力、通年のアレンジメントフラワー飾りは、地元アレンジメントフラワー教室の協力。また、桃の節句、端午の節句は、吊るし雛教室の協力で、10本以上の吊るし雛が飾られ、多くの皆様が鑑賞に訪れています。
- ・人の目を気にせずに、待ち合わせをしたり、お弁当を広げたり、お茶を飲んだりできるようにチラシラックで間仕切りをして、丸テーブル2台と椅子6脚を配置しています。(ただし、受付カウンターからは目の届く範囲)
- ・リハーサル室の前には、入れ替え時間を待っていただけるように、長椅子を置いています。
- ・防災緊急時にも対応できるように、公衆電話を設置しています。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

17 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

- ・ ロビーのグランドピアノはロビーパフォーマンス時に使用し、一般の方が演奏を楽しみにしています。
 - ・ ロビーにはフリーWiFiが導入されています。
 - ・ 第4期は、軽食自動販売機を導入できるようにします。
- (3) 子育て支援、地域・行政の情報が展示されています。
- ・ 地域の施設、横浜市内、都内の文化情報から子育て支援などチラシは100種類以上配架
 - ・ 警察・消防・区役所からのお知らせや、商店街のPR、町内会の広報誌、子育て支援のPRはコーナーを作り効果的にPRをしています。
- (4) 旧杉田劇場の歴史がわかる展示や美空ひばりさん関連の本を閲覧できるようにしています。
- ・ 美空ひばりさんの秘蔵写真や旧杉田劇場に関わる資料など、関係者から寄贈されたものを展示しています。また、当時のことを知る数少ない地域の方々の協力で、新たな発見も生まれていて、美空ひばりプロダクションにも情報を共有し、地域の力に支えられています。
 - ・ 地域の方々が残していった貴重なものを記録して、事業につなげています。(杉劇アート de 伝承プロジェクト)
- (5) 杉田小学校と企業がコラボして生まれたウメニー自動販売機2台を設置しています。
- ・ 観梅に訪れる杉田の浮世絵が現存しているほどの、有名な梅林があった杉田地域が、戦時中の伐採により梅林がなくなってしまいました。その梅を地域の方が惜しみ杉田の梅を復活させようと、杉田梅愛好会や杉田梅復活推進委員会ができ、活動を続けています。
- その意志を継いで今から4年前、地元の杉田小学校が杉田梅のキャラクターを地元企業とコラボして立ち上げました。それがウメニー。さらに、飲料メーカーと小学校がコラボをする形で、こどもたちが描いたウメニーの絵を自動販売機にラッピング、ウメニー自動販売機が2018年3月26日に発表され、4台作ったうちの2台が、杉田劇場にあります。
- ・ 小学校と連携しウメニーの原画やPRを展示しています。
- (6) こどもたちの絵画展示
- ・ MOA南部児童絵画作品展で入賞したこどもたちの作品を12月から冬休み期間いっぱい展示します。
- (7) 一坪ギャラリーの活用
- ・ 彫金やアクセサリー、工芸品など、小さな作品を展示するための、はまっこカードを持っていない人でも使える展示スペースを用意。鍵付きの硝子のショーケースで、1か月単位で利用できます。



展示写真: 旧杉田劇場(昭和21年開館)



ウメニーのラッピング自動販売機



一坪ギャラリー

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

17 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

2 異業種からの職業体験(職業研修)を受け入れます。(そだてる・つなげる／使命2・4)

- ・ 杉田劇場ではアート・マネジメント系の学校や文化施設以外の異業種からも、職業体験(職業研修)受け入れの要請が多くあります。
 - ・ 地域の企業や地域の保育園からの職業研修も受け入れています。
 - ・ 地域の小学校の教員の職業研修を検討し、実施していきます。
- 〈実績〉 安藤建設株式会社、新杉田のびのび保育園、就労支援関係団体等

3 街といっしょに気仙沼復興支援(ささえる／使命3)

- ・ 商店街が積極的に行っている気仙沼復興支援。物産展も夏まつりや冬まつりで開催。地元商店街に気仙沼出身者がいることから始まり、地域で気仙沼を応援するというこで、杉田劇場でチャリティーコンサートを毎年実施。
 - ・ 震災直後には、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーを呼んで、チャリティーコンサートを開きました。
- コンサートで集まった資金は、気仙沼紫市場に震災で倒壊した店舗の1階を改装してこどもたちや高齢者のための居場所スペース「caddoco(かどっこ)」建設資金として寄付し、杉劇リコーダーがオープニングに caddoco で演奏し、現地のこどもたちと音楽交流をしました。
- 気仙沼からもアーティストを招待し、イメージ ISOGO のコンサートに友情出演、交流は続いています。
- ・ 第4期には気仙沼のこどもたちのジャズバンドを招いて、磯子の学校と連携し音楽交流をする予定です。



caddoco(かどっこ)でオープニング演奏

4 地域の文化団体や地域の文化活動の相談窓口として対応します。(ささえる／使命3)

- ・ 舞台の専門知識を有する職員や、地域コーディネーターとして活躍する職員が丁寧に対応し、相談を解決します。場合によっては、専門施設につなげることも行います。

5 駅前にある公共施設としての地域連携も深めます。(つなげる／使命4)

- ・ 地域の文化施設であるということのほかに、駅前にある公共施設として、行政と連携し、まちの防災や防犯などにも協力・対応をしています。災害時の緊急受け入れ先としての側面や最近では、認知症などの高齢者の保護も行っています。地域ケアプラザと連携し、地域ケア会議に出席し、認知症の高齢者来館者の情報交換なども行い、あらゆる人が安心して安全でいられる場所づくりをしています。第4期もさらに連携を深めてきます。

〈連携先〉

磯子区地域ケアプラザ→地域ケア会議(カンファレンス)に出席、情報交換

警察署→地域の見守り・こどもの見守りとして防犯連絡所、防犯連絡員として連携

消防署→火災予防協会の一員

JR・シーサイドライン・京急 →高波などによる帰宅困難者一時滞在施設

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇／
有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体

17 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

6 パブリシティ(情報発信)、広報活動の取り組み(つなげる/使命4)

- ・ 杉田劇場から地域の文化活動や話題になる文化情報を定期的に発信し、新聞、タウン誌、テレビ局などに採り上げてもらう機会を増やします。
- ・ 地元紙プレス懇談会を実施し、地域の人材とつなぎます。
- ・ 貸館事業も積極的にPRをします。

7 社会の変化に対応してスマホ決済への取り組み(つなげる/使命4)

- ・ 商業施設のテナント会や地元銀行と連携して、利用者が望むスマホ決済の在り方を検討し、利用できるよう検討をはじめます。

8 区内の施設と連携し、企業とのタイアップなども視野に入れていきます。(つなげる/使命4)

〈実績〉 子育て支援拠点いそびよや、子育て関連団体と企業とのタイアップ

子育てママ向けヨガの実施(LAVA International から講師派遣)

- ・ 第4期も、タイアップ先を開拓します。

9 人材バンク(そだてる、つなげる、ひろげる/使命2、4)

- ・ 15年の成果として、区民の力、人材が集積されてきました。
- ・ 杉劇リコーダーずや区民参加演劇のワークショップに参加していた子どもたちが大人になり、プロの俳優や演奏家を目指しています。いそご文化資源発掘隊で調査に関わった人たちも、地域活動の担い手として活躍し、多くの人材が輩出されています。
- ・ 第4期からは、人材をさらにつなげ、広く活用できる仕組みをつくり、区民文化活動や区民文化支援につなげます。

10 アートと街が結ばれて、地域の絆がますます深まる磯子の魅力を全国に発信します(ひろげる/使命4)

- ・ 15年間の地域をアートでつなぐさまざまな試みやこれからの試みを、全国公立文化施設協会や地域創造で積極的に報告・発表し、ひろく伝えていきます。

団体名

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/
有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス 共同事業体